Air Note 100F

接続と準備

最初に読む本

FLORA

マニュアルはよく読み、保管してください。

■製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
■このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

お使いになる前に

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
次の内容と各マニュアルの内容をよくお読みになり、安全に正しくお使いください。

マニュアルの表記について

重要	重要事項や使用上の制限事項を示します。
ヒント	パソコンを活用するためのヒントやアドバイスです。
参照	参照先を示します。
用語	パソコンの用語を解説します。
CD/DVD ドライブ	DVD マルチドライブ、DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブをまとめて表記しています。
HDD	ハードディスクドライブを表記しています。
Windows XP、Windows	Microsoft® Windows® XP Home Edition を表記しています。

・ マニュアルで使用している画面およびイラストは一例です。機種によっては、異なる場合があります。
　また、説明の都合で、画面のアイコンやイラストのケーブルなど、省略している場合があります。
　URL、メールアドレス、画面などは、マニュアル制作時点のものです。

保証書について

・ 保証書は、所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。
・ 保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
・ 保証期間終了後の修理については、安心コールセンタにご相談ください。お問い合わせ先については、『困った時の Q&A』最初の頁をご参照ください。

使用許諾について

このたびは、日立パーソナルコンピューター FLORA Prius シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。システム装置をご使用になる前に下記使用許諾契約書を必ずお読みいただきご了承いただきますようお願いいたします。
本契約は、システム装置の使用をもってご承諾いただいたものとさせていただきます。本契約をご承諾いただけない場合は、ただちに全てのシステム装置のパッケージと同封物（マニュアル及びその他の印刷物、バインダー、外装パッケージ、その他一切のもの）をお買い求めの販売店にご返却ください。この使用許諾契約書は、お客様が適法に使用許諾を受けたことの証明となります。
本契約は、システム装置とともに取得したソフトウェアに適用されます。ただし、特定のソフトウェアについて「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等がある場合は、本契約に優先して適用されます。

使用許諾契約書

第 1 条　許諾

日立製作所は、お客様に対し、本契約書とともに取得したソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）に関し、以下の権利を許諾します。

(a) お客様は、本ソフトウェアを本ソフトウェアとあわせて取得したコンピューターに限り使用することができます。
(b) 本ソフトウェアには、独立した機能をコンピューター上で実行する複数のコンポーネントが含まれていますが、全てのコンポーネントをもって 1 つの製品として扱わなければなりません。

第 2 条　著作権

(a) 本ソフトウェア及び添付マニュアル等の著作権は、日立製作所またはそれぞれの開発元が有するものであり、日本国著作権法、アメリカ合衆国著作権法及び国際条約等により保護されています。

第 3 条　その他の条件

(a) お客様は、本ソフトウェア及び本ソフトウェアに付属する全ての印刷物を複製できません。
(b) お客様は、本ソフトウェアを譲渡、貸出、移転、その他の方法で第三者に使用させないでください。
(c) お客様は、本ソフトウェアについて逆コンパイル、逆アセンブルをすることはできません。

第 4 条　品質保証

(a) 日立製作所は、本ソフトウェアに付属する全ての印刷物に乱丁・落丁がある場合、お買い上げ後 90 日間に限り補修又は交換に応じるものとします。
(b) いかなる場合においても、日立製作所ならびに本ソフトウェア著作権保有者は本ソフトウェアの使用又は使用不能から生ずるいかなる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他金銭的損害を含むがこれらに限定されない）に関して、一切責任を負わないものとします。

第 5 条　契約の解除

お客様が本契約に違反した場合、日立製作所は、本契約を解除することができます。その場合、お客様は、本ソフトウェアを一切使用しないものとします。

株式会社日立製作所

パソコンを安全にお使いいただくために

■安全に関する共通的な注意について
次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。
・**操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。**
・**装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。**
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。

■シンボルについて
安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。

これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。

⚠警告　これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。

⚠注意　これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

注意　これは、装置の重大な損害、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

【表記例1】感電注意
△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。

【表記例2】分解禁止
⃠の図記号は行ってはいけないことを示し、⃠の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。

【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け
●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

■操作や動作は
マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。

■自分自身でもご注意を
装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

⚠警告

異常な熱さ、煙、異常音、異臭

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、バッテリーパックを取り外してください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

修理・改造・分解

本書の指示に従って行うオプションの増設作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

付属品の使用

AC アダプターやバッテリーパックなどは、必ず付属または指定のものをご使用ください。それ以外のものを使用すると、電圧、最大出力電流や＋－の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。

装置内部への異物の混入

通気孔などから内部にクリップや虫ピンなどの金属類や燃えやすい物などを入れないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外すときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。パソコンの電源を切っても、一部の回路には、通電しているため、思わぬ接触など作業不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。また、バッテリーパックを取り付けているときは、バッテリーパックも取り外してください。

装置上に物を置く

花びん、植木鉢など水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、発火の原因になります。

電源コードの扱い

電源コードは、必ず付属のもののみ使用し、次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、電源コードの銅線が露出したりショートや一部断線で、過熱して、感電や火災の原因になります。

- ものを載せない
- 引っ張らない
- 押しつけない
- 折り曲げない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない
- 束ねない

揮発性液体の近くでの使用

マニキュア、ペディキュアや除光液など揮発性の液体は、パソコンの近くで使わないでください。パソコンの中に入って引火すると火災の原因になります。

電源プラグの抜き差し

- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。電源コード部分を引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
- 休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

警告

電源プラグの接触不良やトラッキング

電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。

・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。

・グラグラしないコンセントを使ってください。

落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなど過大な衝撃を与えないでください。内部に変形や劣化が生じ、そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

使用する電源

日本国内で使用できる電源は交流100Vです。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。

日本国外の使用

本パソコンは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており本パソコンは適合していません。

航空機内での使用

航空機内で使用するときは、航空会社の指示に従ってください。航空機の計測器などに悪影響をおよぼすおそれがあります。

バッテリーパックの保管

バッテリーパックを保管する場合は、パソコンから取り外し、端子に絶縁テープをはり、絶縁状態にしてください。絶縁状態にしないでバッテリーパックを保管すると、端子間どうしが接触ショートし過熱・破裂・発火などでけがをしたり、火災の原因になります。

バッテリーパックの取り扱い

バッテリーパックは次のことに注意してお取り扱いください。取り扱いを誤ると、液漏れ、過熱・破裂・発火し、火災やけがの原因になります。

・電池の＋－端子間をショートさせない。

・火中に投入したり、60℃以上に加熱しない。

・落下などの強い衝撃を与えない。

・外装パックが著しく破損するような衝撃を与えない。

・濡れた布で金属部分を拭かない。

・水に濡らしたり、濡れた手で触れない。

・分解しない。

・火のそばや、炎天下、暖房器具の近くなどで使用、放置、充電しない。

・指定外のバッテリーパックを使用しない。

・液漏れしている場合には、素手で触れない。万一付着した場合は、流水で洗い流す。

参照 関連ページ→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーの使用について」

バッテリーパックの液漏れ

誤った取り扱いをすると、バッテリーパックから液漏れすることがあります。この液体には絶対に触れないでください。もし液体が手についたときは、流水で洗い流してください。万一、口に入ったときは水でゆすぎ、目に入ったときは清水で洗い流してから、医師の診断を受けてください。

⚠警告

バッテリーパックの持ち運び
バッテリーパックを持ち運ぶときはポリ袋などに入れてください。ほかの金属に触れ、端子間がショートし、過熱・発火・破裂などを引きおこし、火災やけがの原因になります。

バッテリーパックの充電
バッテリーパックを充電するときは必ず、このパソコンに入れて充電してください。ほかの方法では、電圧、充電時間などが異なる場合があり、破裂・発火などの原因になります。

参照 関連ページ→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「バッテリーパックの充電」

タコ足配線
同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

湿気やほこりの多い場所での使用
浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

温度差のある場所への移動
移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因となります。使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

電源スイッチについて
電源スイッチを OFF にしていても、一部の回路には通電しています。休暇や旅行などで長時間ご使用にならないときは、必ず AC アダプターの電源プラグを抜き、バッテリーパックを取り外してください。万一、部品破損時には火災の原因になります。

周辺機器の増設や接続
周辺機器を増設・接続するときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックが付いているときはバッテリーパックを外してください。マニュアルの説明に従い、マニュアルで使用できることが明記された周辺機器を使用してください。それ以外の周辺機器を使用すると、接続仕様の違いによる周辺機器やパソコンの故障から発煙、発火、火災や故障の原因になります。

通気孔
通気孔は内部の温度上昇を防ぐためのものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、発煙、発火や故障の原因になります。

電話線への接続と使用
雷が鳴っているときは、パソコンの使用および電話線の接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

モデム部分への接触
内部に触れる必要があるときは、モジュラーケーブル（電話線）を抜いてください。呼び出し（ベル）着信時および雷が鳴っているとき感電するおそれがあります。

⚠警告

ACアダプターの取り扱い

ACアダプターは、次のことに注意してお取り扱いください。火災、感電もしくは発熱によるやけどの原因になることがあります。

- 絶対に分解しないでください。
- 浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。
- 水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
- 熱がこもるような環境で使用したり、放置したりしないでください。
- 上に物を置かないでください。
- 必ず付属のコードセット(電源コード)を使ってください。

梱包用ポリ袋について

パソコンの梱包用エアキャップなどのポリ袋は、お子さまの手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。

⚠ 注意

部品の追加・交換

電源を切った直後は、カバーや内部の部品が熱くなっています。約30分、時間をおいてから行ってください。やけどの原因になります。

参照 関連ページ→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「増設作業時のお願い」

接続端子への接触

USBコネクターなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

金属など端面への接触

パソコンの移動、部品の追加などで金属やプラスチックなどの端面に触れる場合は、注意して触れてください。または、綿手袋を着用してください。けがをするおそれがあります。

参照 関連ページ→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「増設作業時のお願い」

ディスプレイ部の破損

ディスプレイ部はガラスでできています。ディスプレイ部が破損したとき、ガラスの破片には直接触れないでください。けがをするおそれがあります。

不安定な場所での使用

傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

目的以外の使用

踏み台やブックエンドなど、パソコン本来の目的以外に使用しないでください。壊れたり、倒れたりし、けがや故障の原因になります。

ヘッドホンやイヤホン

ヘッドホンやイヤホン使用時は、適度な音量でご使用ください。音量が大きすぎると難聴になるおそれがあります。

参照 関連ページ→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「接続方法」

信号ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っかけないように、配線してください。足をひっかけると、けがや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
- ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

低温やけど

パソコン使用中は底面が熱くなります。ひざの上などに直接のせて使用しないでください。低温やけどのおそれがあります。また、装置の一部が熱くなる場合がありますが、装置動作に支障をきたすものではありません。

眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を行うときは、作業場を300～1000ルクスの明るさにしてください。また、連続作業するときは、1時間に10分から15分程度の休息をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。

ディスプレイ部の開閉

開閉は、ディスプレイ部の中央上側を持ち行ってください。とくに閉じるときは、カチッとロックするまでゆっくりと倒してください。このようにしないと、ディスプレイ部の破損の原因になります。

注意

パソコンの廃棄

・事業者が廃棄する場合
「資源の有効な利用の促進に関する法律(通称);改正リサイクル法」にもとづき、パソコン製造事業者である弊社は、お客さまのご依頼にもとづくパソコンの回収リサイクルサービスを提供しています。当該サービスでは回収リサイクルの効果を向上させるなど、法律の趣旨に的確に対応していますので、ご利用ください。

・個人が廃棄する場合
パソコンを廃棄するときは、お買い求め先にご相談いただくか、地方自治体の条例または規則に従ってください。

参照 お問い合わせ先→『困った時の Q&A』最初のページ

バックアップについて

HDD 装置のデータなどの重要な内容は必ず補助記憶装置にバックアップを取ってください。HDD 装置が壊れると、データなどがすべてなくなってしまいます。

電波障害について

ほかのエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオなどからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

バッテリーパックの廃棄

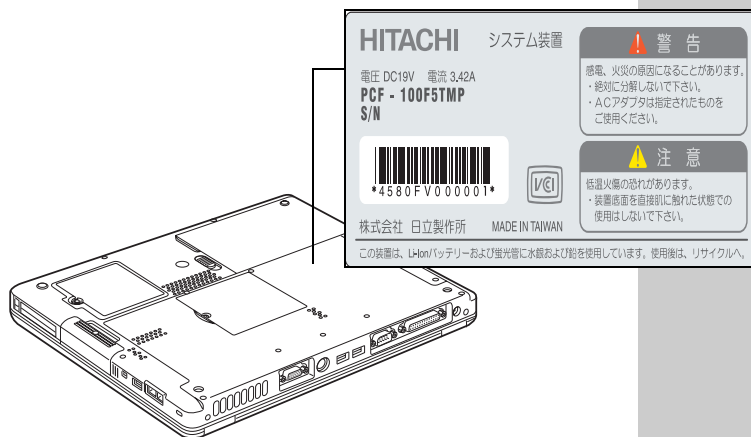
使用済みのバッテリーパックは、希少資源(Li-ion)の有効利用のために、端子または接続コードにテープをはるなどの処置をしてから、充電式電池リサイクル協力店に持参して頂くか、お問合せ先へ処分方法をお問い合わせください。

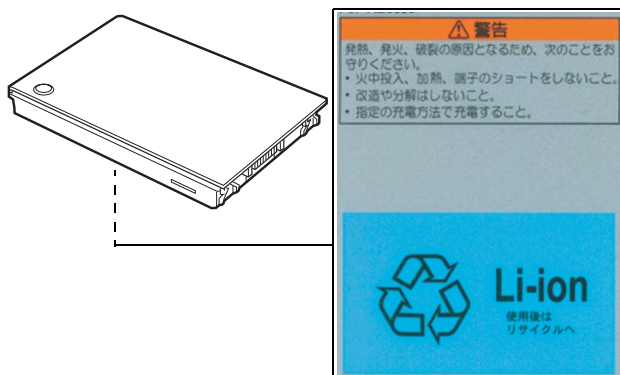
参照 お問い合わせ先→『困った時の Q&A』最初のページ

モデムケーブルの接続について

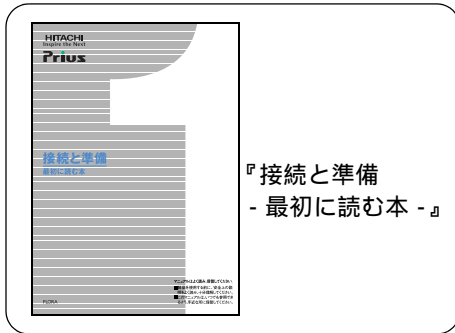
モデムケーブルは、同梱のモデムケーブルを使用し、２線式のアナログ電話回線に接続してください。それ以外に接続すると、故障するおそれがあります。

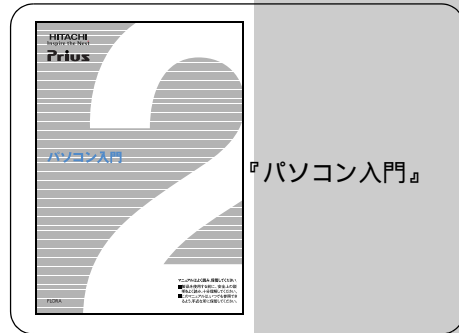
警告ラベル

● パソコン

● AC アダプター

● バッテリーパック

パソコンを使いこなすまで

本書は、あなたがパソコンユーザーとして第一歩を踏み出すための案内書です。このページでは、パソコンを購入してからパソコンを使いこなすまでの道すじを、マニュアルの読み進め方や使い方とともに紹介します。
マニュアルに書いてある番号順に読んでください。

準備と接続、そしていよいよスイッチ ON !

『接続と準備
- 最初に読む本 -』

パソコンの基本を知っておこう !

『パソコン入門』

■1『接続と準備ー最初に読む本ー』
パソコンを購入してからはじめて電源を入れて動作させるまでに、必要な接続などの準備について説明しています。最初にお読みください。

■2『パソコン入門』
キーボードやマウス、Windows の使い方などを説明しています。2 番目に読むマニュアルです。

■3『始めよう ! インターネット』(電子マニュアルのみ)
インターネットの始め方について説明しています。インターネットでできることや楽しみ方についても紹介しています。

■3 『始めよう ! TV エンターテインメント』
録画再生、映像データの編集などの専用アプリケーションについて説明しています。

■4『パソコン応用』(電子マニュアルのみ)
パソコンについての詳しい情報や、パソコンの拡張について説明しています。パソコンをさらに使いこなしたいときにお読みください。

■『アプリケーションガイド』
各アプリケーションの簡単な使い方などをまとめています。

■『困った時の Q&A』
トラブルの解決方法などについて説明しています。また、パソコンや各アプリケーションの問い合わせ先についても紹介しています。

■電子マニュアル『活用百科』
本書を含めマニュアルは、電子マニュアルにして CD に収録しています。電子マニュアルの見方は、『パソコン入門』で説明しています。

用語

Windows
パソコンを操作するための基本ソフトウェア。OS(オペレーティング システム) とも呼ばれます。

用語

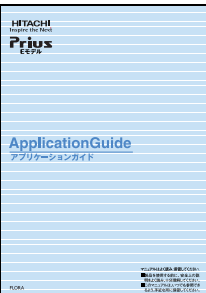
インターネット
全世界のネットワークを相互に接続し、そのあいだを自由に行き来できるようにした巨大なコンピューターネットワークのこと。

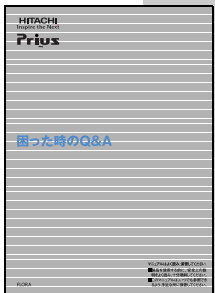
パソコンでいろいろできる！

『始めよう！インターネット』

電子マニュアルのみ

『始めよう！TV エンターテインメント』

パソコンを使いこなす！

『パソコン応用』

電子マニュアルのみ

電子マニュアル『活用百科』

ソフトウェアを使いこなす！

『アプリケーションガイド』

トラブルが起きてしまったら

『困った時の Q&A』

作業の流れをつかんでおこう

ここでは、このマニュアルで行う作業の流れを説明します。
購入後、箱を開けてからはじめてパソコンの電源を入れるまでには、いくつかのステップがあります。

同梱品の確認

「1. 同梱品を確認しよう」

箱の中に入っている同梱品がすべてそろっていることを確認します。

接続する

「2. 接続しよう」

パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所や姿勢を知っておきましょう。そのあとパソコンを動作させるために、接続します。

電源を入れる

「3. 電源を入れよう」

電源を入れて、Windows を使えるようにします。

もう一度電源を入れる

「4. 電源を入れ直そう」

電源を入れ直して、デスクトップ画面が表示されるか確認します。Windows の操作はデスクトップ画面から始めます。

その他の準備

「5. いろいろな使い方をするために」

バッテリーパックの使い方やインターネットをするための準備など、パソコンのいろいろな使い方や、パソコンの各部の名前やはたらきについて説明します。

パソコンが動かなくなった

パソコンを再セットアップする

「6. 再セットアップについて」

パソコンを購入時に近い状態に戻すことを、再セットアップするといいます。パソコンの動作が不安定なときや、動かなくなったときに再セットアップを行います。

データのバックアップについて

「バックアップ」とは、パソコンの HDD から CD-R などのほかのメディアに、ファイルをコピー (複製) することです。
パソコンに入っている電子メールやお客様が作成されたファイル、設定情報などは再セットアップを行うと消えてしまいます。また、万が一パソコンが故障したときに、データを復元できないこともあります。常日頃から、電子メールや作成ファイルなど、大切なデータは必ずバックアップを取り、設定情報は書き留めてください。

参照

コピーの方法について→『パソコン入門』の「3. ファイルを使おう」

バックアップの方法について

→『困ったときの Q&A』の 1 章「パソコン Q&A」の「データのバックアップ」
→『アプリケーションガイド』の「安心楽々引越しパック」でデータを移動する

もくじ

1. 同梱品を確認しよう

箱を開けたら、まず箱の中に入っている同梱品がそろっていることを確認しましょう。

同梱品チェックリストで確認しよう

箱の中にある『同梱品チェックリスト』を使って、不足品がないか確認しましょう。万一不足があるときは、すぐに安心コールセンタにお問い合わせください。

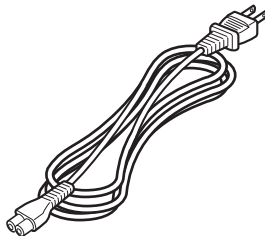
パソコンの形名を確認しよう

パソコンの形名と製造番号は、本体の裏側に記載されています。

■パソコン

機器銘板（裏側）

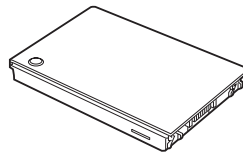
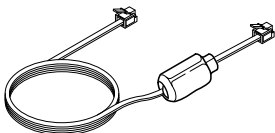
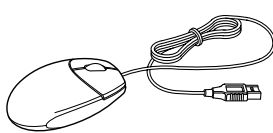
■AC アダプター
(AP6530)

■電源コード

■バッテリーパック
(AB6550)

■モデムケーブル

■マウス

ヒント

★ 機器銘板には、形名や製造番号が記載されています

保証書を確認しよう

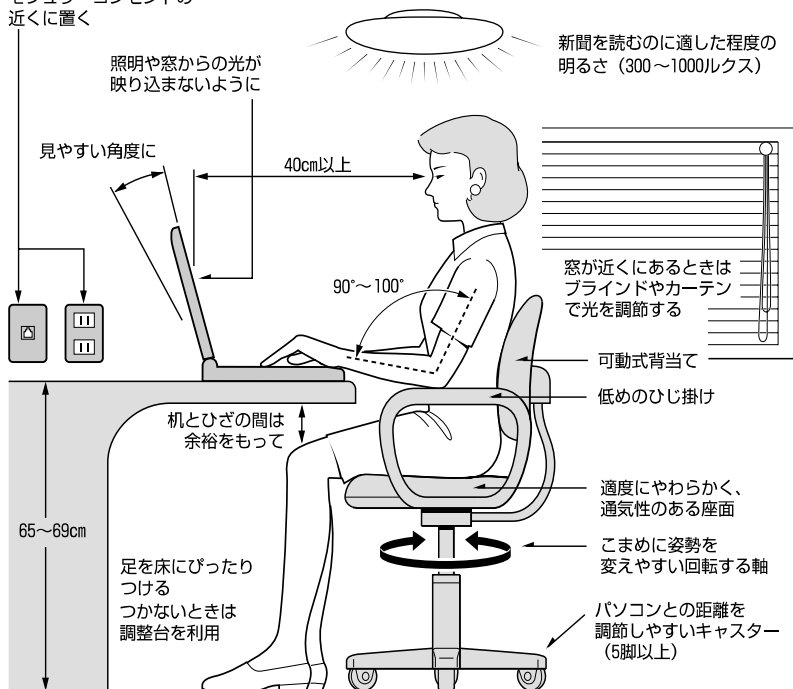
■保証書

保証書は、パソコンの箱にはり付けてあります。
パソコンの製造番号と保証書の番号が、同じであることを確認してください。万一違う場合は、すぐに安心コールセンタにお問い合わせください。

2. 接続しよう

パソコンの置き場所を決めてから、AC アダプターとバッテリーパックを接続しましょう。

置き場所や姿勢について

パソコンを使う場所によっては、パソコンに思わぬトラブルを起こす可能性があります。パソコンを正しく使うために、パソコンを使うときに適した場所と姿勢について知っておきましょう。

参照：日本人間工学会 ノートパソコン利用の人間工学ガイドライン (1998 年 労働科学研究所発行)

・ パソコンのディスプレイは、体の正面に設置し、見やすい角度に調節する。
・ ディスプレイの照度、明るさと周囲の照明を適度に調節し、ディスプレイの反射を抑える。
・ 明るさやコントラストなど見やすいように調節する。
・ キーボードやマウス、ポインティングパッドを使うときは、手首とひじは水平になるような位置を保つ。
・ パソコンの作業時間は、１日に最大６時間を目安とし、１時間ごとに 10 ～ 15 分の休息をとる。
・ キーボードは本などで使いやすい角度に調節する。
・ 周辺機器を接続しても余裕のある、十分な作業空間を確保する。
・ 不自然な姿勢を避け、ときどき姿勢を変える。

用語

AC アダプター
コンセントの交流電源を直流電源に変換してパソコンに供給します。

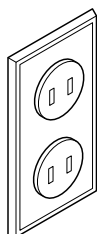
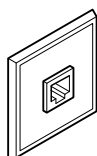
⚠警告

◎ **浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。**

⚠注意

◎ **傾いたところや狭い場所など不安定な場所には置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。**

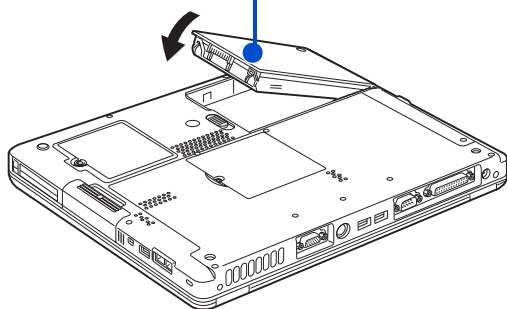
コンセントの位置を確認しよう

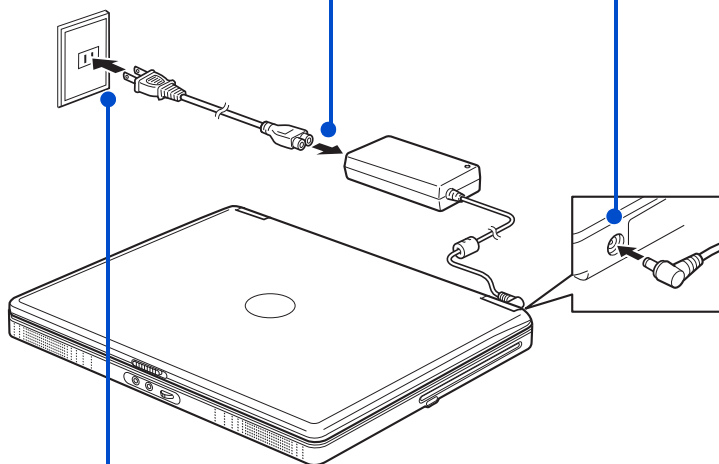
次のコンセント類が、パソコンに設置する場所にあるか、ご確認ください。コンセント類とパソコンを接続するケーブルが届く位置にパソコンの位置を決めてください。

電源コンセント１個
プリンターなど、周辺機器を接続する場合は、さらにその個数分必要です。

モジュラーコンセント１個
モデムを使ってインターネットに接続するときに必要です

接続しよう

さっそく接続してみましょう。①から順番に接続してください。

1 パソコンを裏返す

2 バッテリーパックを「カチッ」と音がするように取り付ける

3 AC アダプターを、パソコンの電源コネクターに差し込む

4 電源コードを、AC アダプターに差し込む

5 電源コードのプラグを、コンセントに差し込む

ヒント

★ パソコンは、バッテリーパックを取り付けなくても AC アダプターだけで動かせます。

⚠警告

◎ AC アダプター、バッテリーパックは同梱のものを使用してください。同梱のもの以外を使用すると、電圧、最大出力電流、および＋－の極性が異なっていることがあるため、火災の原因になります。

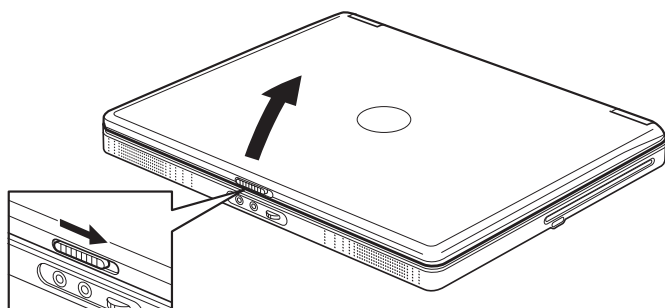
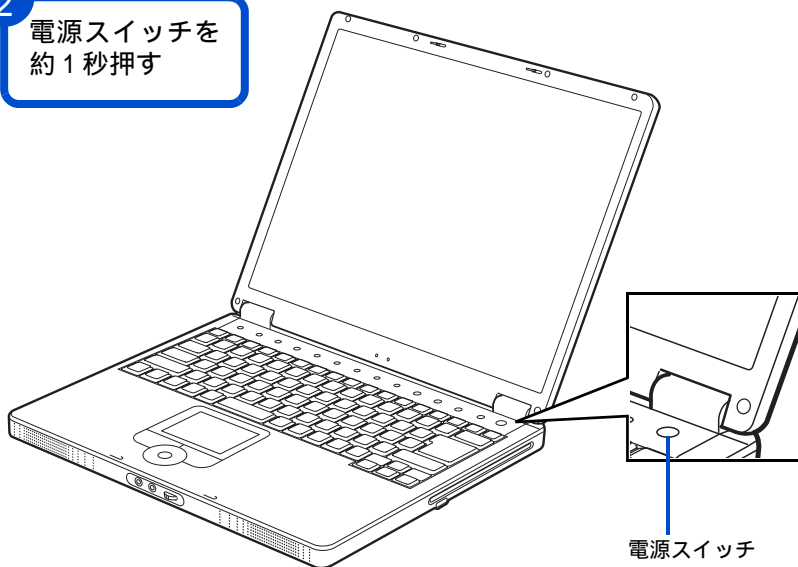
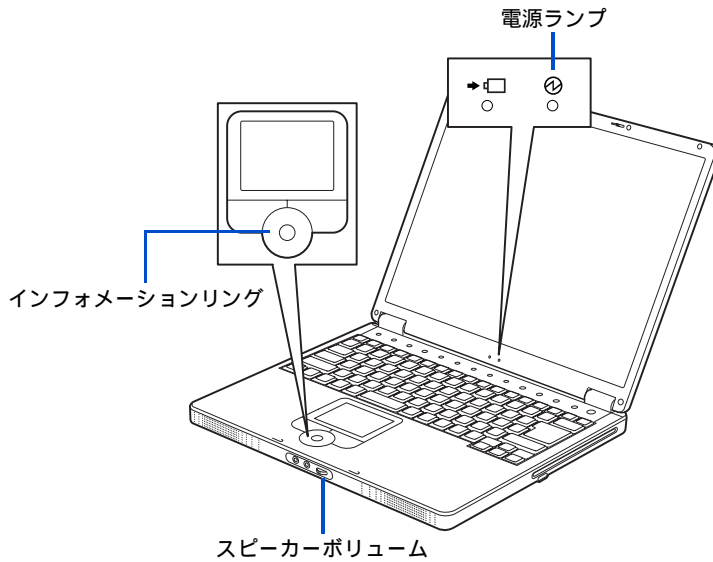
⚠警告

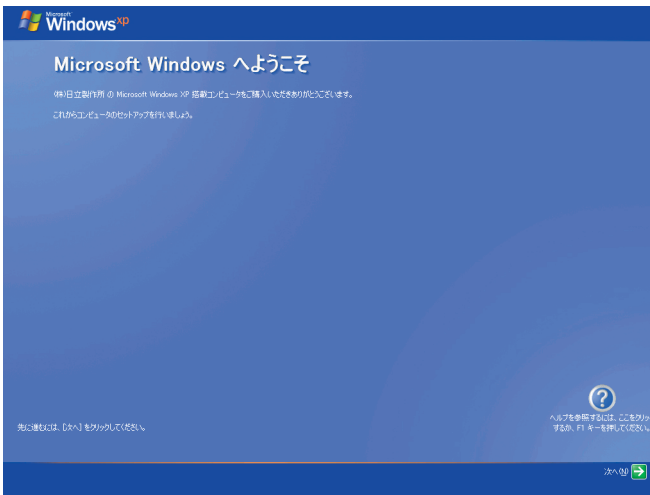
◎ 同じコンセントに多数の機器を接続しないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。また、電力の使用量がオーバーとなり、ブレーカーが落ちてほかの機器にも影響を及ぼします。

3. 電源を入れよう

ここまででパソコンの電源を入れる準備ができました。
次に、電源を入れて Windows を使えるようするまでの操作を説明します。

電源を入れよう

1 ラッチを矢印の方向にスライドさせて、液晶ディスプレイを開く

2 電源スイッチを約 1 秒押す

3 電源ランプが点灯し、インフォメーションリングが点灯したことを確認する

4 次の画面が表示されるまで待つ

▼ [Microsoft Windows へようこそ] 画面が表示されます。

ヒント

★ 電源を入れた直後は、インフォメーションリング内を光が回転します。この状態では、まだ操作できません。

★ 画面が表示されるときの音が大きすぎるときは、スピーカーボリュームのダイヤルを回して調整してください。ダイヤルは、パソコンの前面手前にあります。

参照

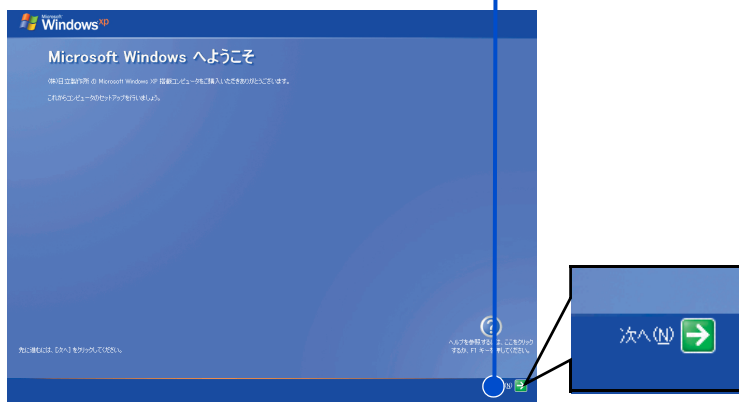
本書の「5. いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」

重要

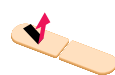
◎ 電源スイッチを操作してからこの画面が表示されるまで、液晶ディスプレイを閉じないでください。

使用許諾契約に同意しよう

はじめてパソコンの電源を入れるときは、Windows の使用許諾契約に同意して、Windows を使えるようにする必要があります。この操作は、はじめて電源を入れるときだけに必要です。次に電源を入れるときは必要ありません。

1 **ポインティングパッドの上で指をすべらせ、画面上に表示されている を移動させて [次へ] に重ねる**

2 **左のクリックボタンを 1 回押す**

▼[使用許諾契約] 画面が表示されます。

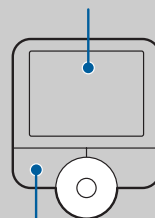
左のクリックボタンを 1 回押すことを、「クリック」といいます。

用語

使用許諾契約
ここでは、あらかじめパソコンに入っているWindows を使うための契約のこと。

ヒント

★ **画面に表示されている を、「マウスポインター」と呼びます。**

★ **ここでは、パソコンのこの場所を使って操作します。**

ポインティングパッド

クリックボタン

3 を移動させて ○ 同意します に重ね、クリック

▼ ○ 同意します が、◉ 同意します になります。

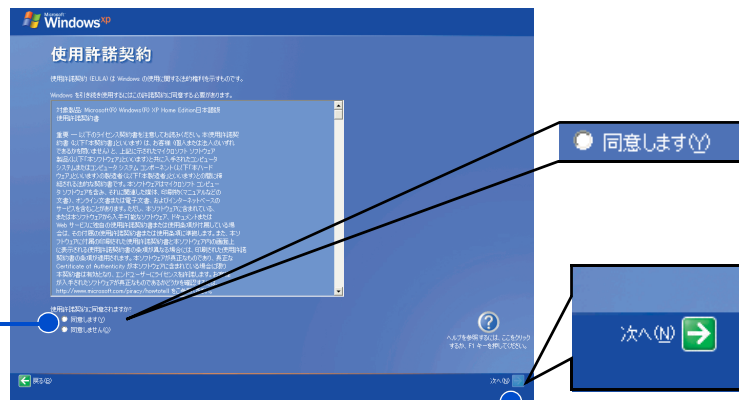
4 を移動させて [次へ] に重ね、クリック

▼ [コンピュータに名前を付けてください] 画面が表示されます。

5 **[このコンピュータの名前] を入力し、必要に応じて [コンピュータの説明]（省略可能）を入力する。**

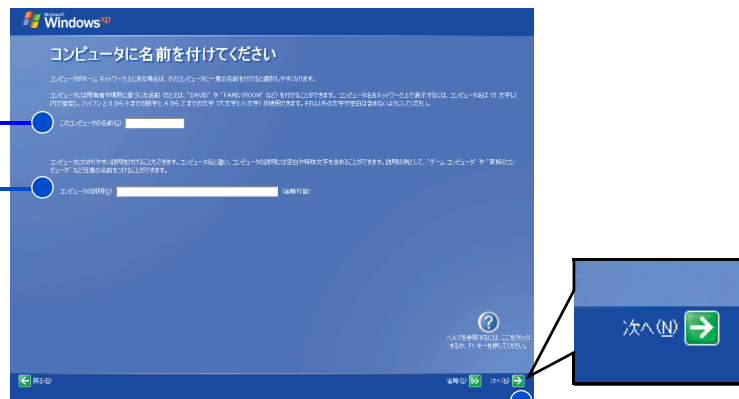
これらの入力内容はあとで変更できるので、[このコンピュータの名前] はペットに名前を付けるようなつもりで入力します。[コンピュータの説明] は何も入力しないで次へ進みます。

6 **を移動させて [次へ] に重ね、クリック**

▼ **[このコンピュータを使うユーザを指定してください] 画面が表示されます。**

ヒント

★ 操作を間違えたときは、[戻る] に を重ね、左のクリックボタンをクリックします。一つ手前の画面に戻ります。

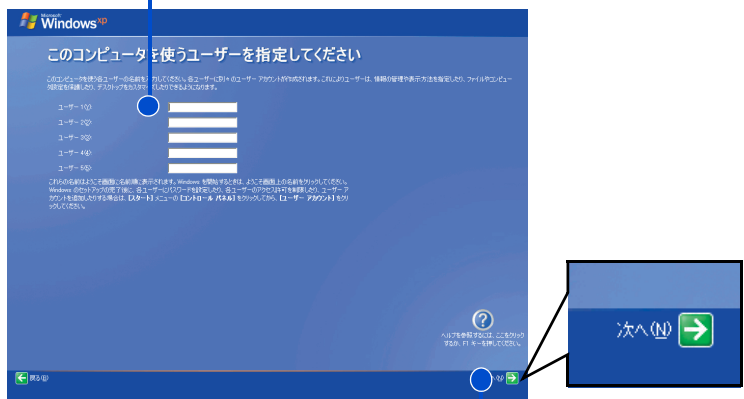
重要

◎ 使用許諾契約は必ずお読みください。

ヒント

★ 入力できる文字には制限があります。画面の指示に従ってください。

★ [このコンピュータの名前] と [コンピュータの説明] はあとで変更できます。変更の方法については『パソコン入門』「4. コントロールパネルを使おう」をご参照ください。

7 [ユーザー 1] を入力する。

入力内容はあとで変更できるので、[ユーザー1] は自分にニックネームを付けるつもりで入力します。

8 を移動させて [次へ] に重ね、クリック

▼ [設定が完了しました] 画面が表示されます。

9 を移動させて [完了] に重ね、クリック

▼ Windows のデスクトップ画面が表示されます。

２回目以降は、電源を入れると Windows XP でパソコンが使えます。[使用許諾契約] 画面や [コンピュータに名前を付けてください] 画面などは表示されません。

ヒント

★ **[ユーザー 1] に入力した名前は、あとで変更できます。変更の方法については『パソコン入門』「4. コントロールパネルを使おう」をご参照ください。**

★ **キーボードの入力操作に慣れていない方は『パソコン入門』「日本語を入力しよう」をご参照ください。**

日本語を入力するには

日本語を入力する方法は2つあります。使いやすい方法を選んで入力してください。

ローマ字入力

キーの左上のアルファベットを使って、ローマ字読みでひらがなを入力する。

H I T A C H I

と入力すると自動的に

「ひたち」となります。

かな入力

かな入力したい場合は、キーボードの Alt キーを押しながら カタカナ ひらがな キーを押すと

かな入力ができます。

キー右下、または右上のひらがなを使って入力する。

ひ た ち

と入力すると

「ひたち」となります。

漢字変換

入力したひらがなを漢字に変換するには、キーボードの （スペース）キーを押します。違う漢字が表示されたときは、もう一度 （スペース）キーを押して、漢字の候補一覧の中から該当する漢字を選びます。

「ひたち」－ → 常陸 － → 日立

選んだ漢字を確定するには、Enter キーを押します。

ひらがなのままでよいときは、（スペース）キーを押さずに、そのまま Enter キーを押して確定します。

4. 電源を入れ直そう

Windows の使用許諾契約などが終わったら、いったん電源を切ります。電源を切る操作はとても大切です。次に説明する方法で電源を切ってください。そのあと、もう一度電源を入れて、デスクトップ画面が表示されることを確認します。

電源を切ろう

電源は、この操作で切ってください。

1 **[スタート] に を重ね、クリック**

▼スタートメニューが表示されます。

2 **[終了オプション(U)] に を重ね、クリック**

▼[コンピュータの電源を切る] 画面が表示されます。

ヒント

★ **電源スイッチを押すと、手順 1 ～3の操作と同じように電源が正しく切れます。**

重 要

◎ **電源スイッチは、4 秒以上押し続けないでください。Windows が強制終了されます。この場合、異常終了とみなされ、次回立ち上げ時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がります。**

3 電源を切る(U) にを重ね、クリック

▼しばらくすると電源が切れ、電源ランプが消えます。

重要

◎ 一度電源を切り、再び電源を入れるときは、10 秒以上の間隔をあけてください。

もう一度、電源を入れよう

1 電源スイッチを押す

▼しばらくして、デスクトップ画面が表示されます。

画面のここから始めよう

Windows は、デスクトップ画面から操作を始めます。ここでは、デスクトップ画面に表示されている、基本的な部分について説明します。

用語

デスクトップ
作業をするための机のようなもの。作業をすばやく行えるいろいろなものがあります。

用語

アイコン
ファイルの内容やソフトウェアの機能のメニューを、絵文字で表したもの。

ヒント

★ **画面が暗すぎるときは、キーボードの［Fn］キー押したまま［F9］キーを押してください。［F9］キーを1回押すごとに画面が明るくなります。**

★ **画面が明るすぎるときは、キーボードの［Fn］キー押したまま［F8］キーを押してください。［F8］キーを1回押すごとに画面が暗くなります。**

［ スタート ］ボタン
［ スタート ］ボタンは、いろいろな操作を始めるときに使います。パソコンの電源を切るときも、［ スタート ］ボタンから操作を始めます。

タスクバー
タスクバーには、現在使っているアプリケーションの名前などが表示されます。

用語

アプリケーション
パソコンでワープロ作業、表計算、パソコン通信などを実行するプログラムの総称。

デスクトップ画面の詳しい使い方については、『パソコン入門』「2. ウィンドウとデスクトップを使おう」をご参照ください。

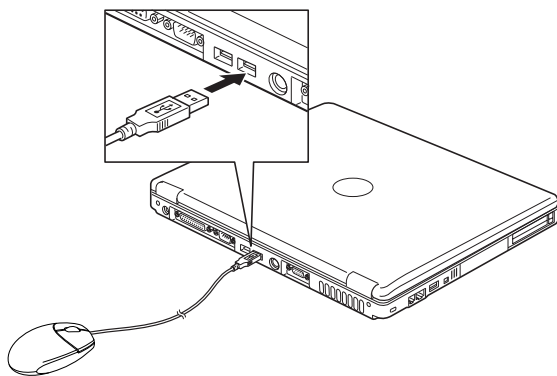
ご購入時の状態では、セットアップされていないアプリケーションがあります。セットアップの方法については、電子マニュアル『パソコン応用』4 章の「アプリケーションのセットアップ」をご参照ください。

5. いろいろな使い方をするために

ここでは、バッテリーパックの使い方やインターネットをするための準備など、パソコンのいろいろな使い方やパソコン各部の名前やはたらきについて説明します。

マウスを使いたい方は

パソコンの背面または左側面の USB コネクターにマウスを接続してください。マウスを接続しない場合は、ポインティングパッドで Windows を操作します。

ヒント

★ USBコネクターは3つあります。いずれに接続しても動作は同じです。

参照

USB コネクター→「5. いろいろな使い方をするために」「ユニバーサルシリアルバスコネクター（USB コネクター）」

屋外などでパソコンを使いたい方は

パソコンに充電したバッテリーパックを取り付けると、コンセントがない場所でもパソコンを使うことができます。また、充電したバッテリーパックを取り付けておけば、停電したときにパソコンの電源が切れることなく対応することができます。

バッテリーパックの取り付け方

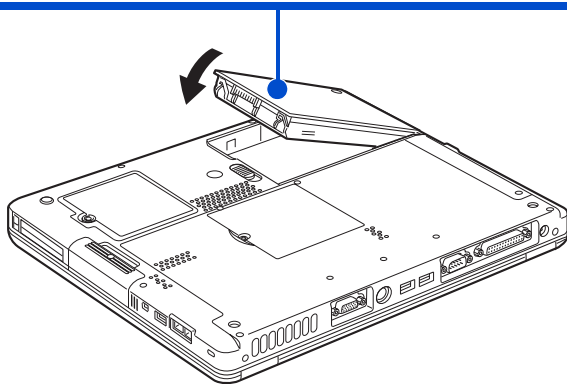
1 電源ランプが消えていることを確認する

電源ランプ

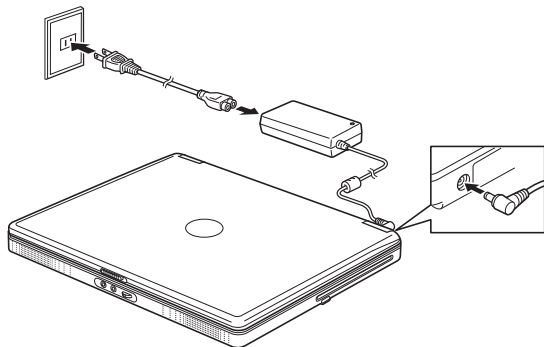
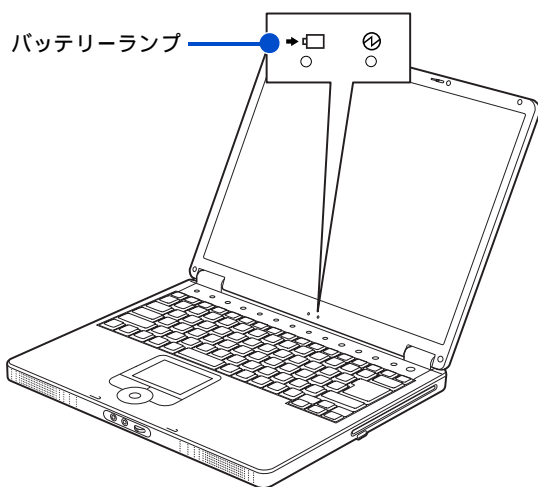
2 液晶ディスプレイを閉じる

3 パソコンを裏返す

4 バッテリーパックを「カチッ」と音がするように取り付ける

重要

◎ 電源ランプが点灯しているときはパソコンの電源が入っています。必ずパソコンの電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してからバッテリーパックを取り付けてください。

バッテリーパックの充電のしかた

1 AC アダプターを接続する

2 液晶ディスプレイを開ける

3 バッテリーランプが点灯していることを確認する

▼充電が始まります。
バッテリーランプが消えたらバッテリーパックの充電は完了です。

⚠警告

バッテリーパックは、必ず本パソコンに取り付けて充電してください。ほかの方法では、電圧、充電時間などが異なる場合があり、破裂・発火などの原因になることがあります。

参照

AC アダプターの接続について→「2. 接続しよう」

ヒント

★ 充電中でもパソコンを使うことができます。ただし、電源を切っているときに比べて、充電が完了するまでの時間が長くなります。
充電時間は、電源を切っているときで、約 2.5 時間、パソコン使用中で約 2.5 時間です。

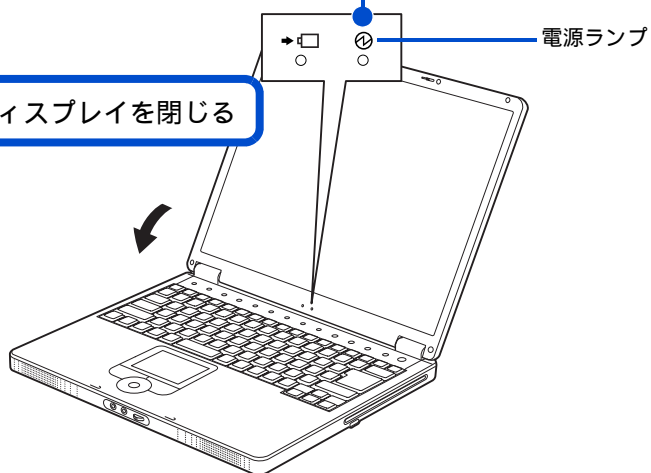
★ バッテリーが満充電の状態で、約2.5時間パソコンを使用できます。

参照

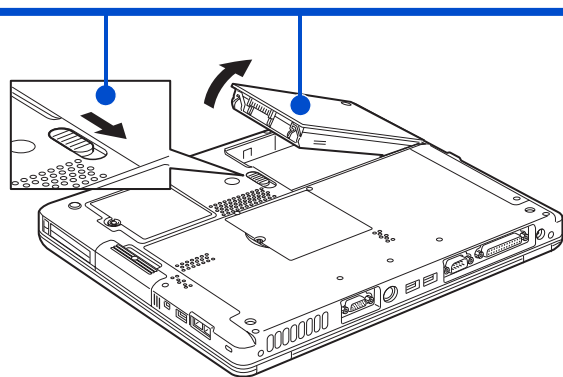
詳しくは→電子マニュアル『パソコン応用』 1章の「バッテリーの使い方」

バッテリーパックの取り外し方

1 電源ランプが消えていることを確認する

2 液晶ディスプレイを閉じる

3 パソコンを裏返す

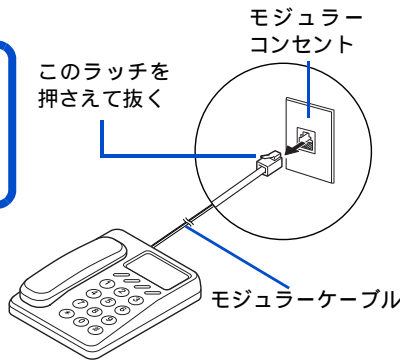
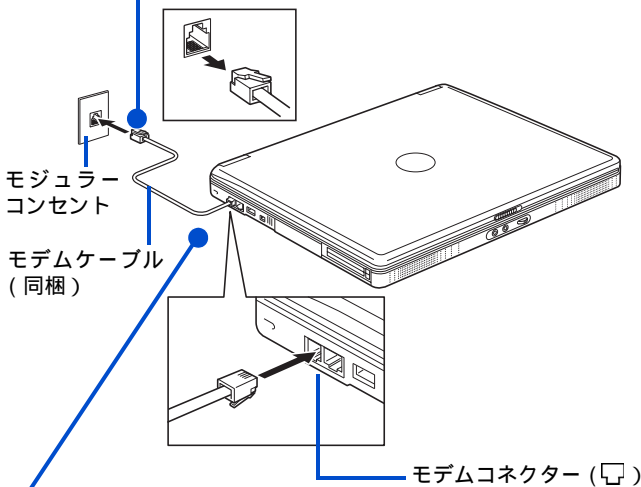
4 バッテリーロックをスライドさせたまま、バッテリーパックを取り外す

重 要

◎ 電源ランプが点灯しているときは、パソコンの電源が入っています。必ずパソコンの電源を切って、電源ランプが消えているのを確認してからバッテリーパックを取り外してください。

インターネットを始めたい方は

モデムを使う

インターネットを始めるためには、モデムケーブルを接続する必要があります。

1 お使いの電話機につながっているモジュラーケーブルを、モジュラーコンセントから抜く

2 同梱のモデムケーブルの片側を、モジュラーコンセントに「カチッ」と音がするまで差し込む

3 モデムケーブルの反対側を、パソコンのモデムコネクターに「カチッ」と音がするまで差し込む

LAN コネクターに接続しないように、必ずマーク（）などを確認して接続してください。

インターネットを始めるためには、ほかにも必要な手続きが残っています。インターネットの始め方については、電子マニュアル『始めよう！インターネット』をご参照ください。

⚠警告

雷が鳴っているときは、パソコンの使用、電話線への接続作業を中止してください。誘導雷で発生する高電圧によって感電するおそれがあります。

注意

モデムケーブルは、同梱のものを使って、２線式のアナログ電話回線に接続してください。それ以外に接続すると、故障するおそれがあります。

ヒント

★ 接続する前に、お使いになっている電話機の種類をご確認ください。お使いになっている電話機がホームテレフォンやビジネスフォン（内線）の場合、接続しても正常にインターネットをすることができません。この場合は、NTT にご相談ください。

★ モジュラーコンセントの形状がイラストと異なる場合は、モジュラーコンセントを変更する必要があります。詳しくは、NTT にご相談ください。

★ モジュラーコンセントにモデムケーブルとパソコンを接続しているときは、電話機を使うことができません。電話機を使うときは、モジュラーコンセントからモデムケーブルとパソコンを取り外し、電話機を取り付ける必要があります。

重要

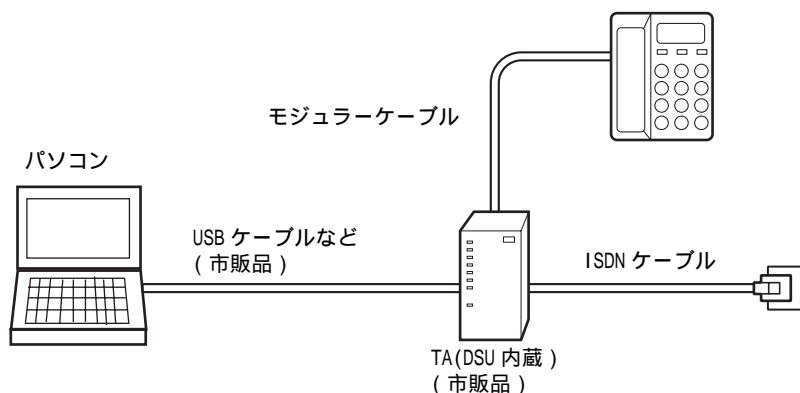
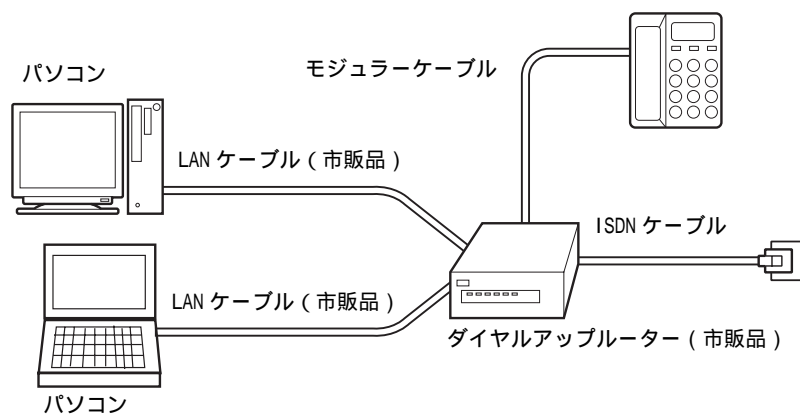
◎ モジュラーケーブルには脱落防止のラッチが付いています。モジュラーケーブルを取り外すときは、ラッチを押さえながらモジュラーコンセントから引き抜いてください。ラッチを押さえずに無理に引き抜くと、モジュラーケーブルが断線したり、モジュラーコンセントを破損するなどのおそれがあります。

モデム以外の通信機器を使う

ISDN 回線や ADSL 回線などを使ってインターネットをすることもできます。ここでは、モデム以外の通信機器を使ってインターネットをするときの接続例を紹介します。

■ISDN を使う

ISDN 回線を使ってインターネットを楽しむことができます。ISDN 回線を使うと、データの送受信が高速になり、インターネットをより快適に楽しむことができます。さらに、1 本の電話回線で 2 本の伝送路を確保できるので、インターネットをしながら電話や FAX を使うことができます。

パソコンが 1 台のときはターミナルアダプタ (以下、TA) を使います。

複数のパソコンで ISDN 回線を同時に使う場合は、TA の代わりにダイアルアップルーターを使います。

用語

ターミナル･アダプター (TA)
ISDN 回線を利用するための通信装置。

用語

DSU
ISDN 回線に接続するための終端装置。

重要

◎ **ISDN について→ NTT(電話番号 116) にお問い合わせください。**

◎ **TA と各ケーブルの購入について→パソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。**

参照

接続について→TAのマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。

ダイアルアップルーターと各ケーブルの購入について→パソコン周辺機器の販売店でお買い求めください。

接続について→ダイアルアップルーターのマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。

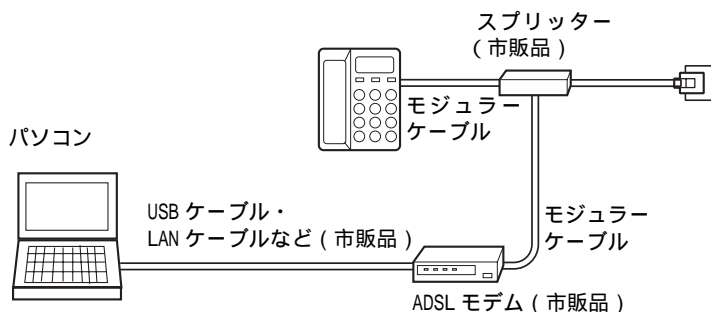
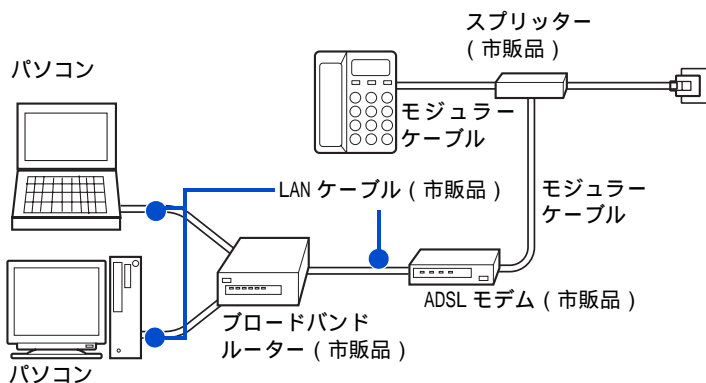
ヒント

★ **ダイヤルアップルーターを使う場合や、ADSL、CATV インターネットを利用する場合は､LANの設定が必要です。詳しくは、プロバイダーや CATV 局から送付された資料をご参照ください。LAN の一般的な設定は電子マニュアル『始めよう！インターネット』でも紹介しています。**

参照

LAN の設定→電子マニュアル『始めよう！インターネット』1 章の「LAN でインターネットに接続する」

■ADSL を使う

インターネットをより快適に楽しむために、ADSL 回線を使える地域もあります。ADSL 回線では、ISDN 回線と比べてデータの送受信が高速になります。24 時間インターネットに接続したままでも、電話代はかかりません。接続料金だけの支払いになります。契約内容により、インターネットをしながら電話や FAX も使うことができます。
ADSL 回線では ADSL モデムを使います。

複数のパソコンで ADSL 回線を同時に使う場合は、ADSL モデムとブロードバンドルーターを使います。

用語

ADSL
従来の電話回線を使い音声電話に使用しない高い周波数を利用することで、高速なデータ転送を可能にしたデジタル技術（xDSL）の 1 つ。インターネットへの接続には専用の ADSL モデムを使用する。

重要

- ◎ **ADSL と ADSL モデムの購入について→ NTT(電話番号 116) または各 ADSL 回線業者にお問い合わせください。**
- ◎ **各ケーブルの購入について→パソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。**

参照

接続について→ ADSL モデムのマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。

参照

- **ブロードバンドルーターと各ケーブルの購入について→パソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。**
- **接続について→ブロードバンドルーターのマニュアルをご覧ください。または、ご購入先にお問い合わせください。**

■CATV を使う

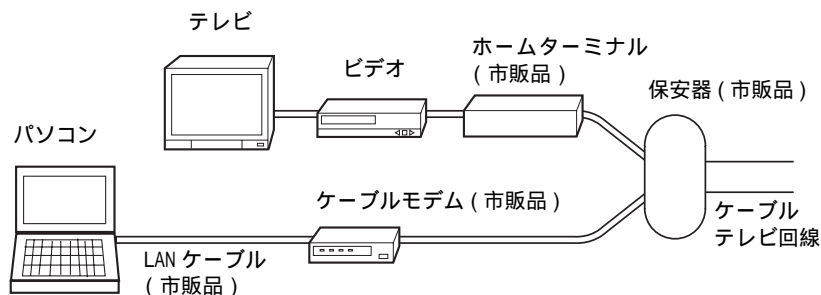
電話回線の代わりにケーブルテレビの回線を使ってインターネットすることもできます。このことを、ケーブルテレビインターネットなどといいます。
ケーブルテレビインターネットの場合、電話回線よりデータの送受信が高速になり、インターネットをより快適に楽しむことができます。さらに、ケーブルテレビの回線を使うので、24 時間インターネットに接続したままでも電話代はかかりません。接続料金だけの支払いになります。

重 要

◎ ケーブルテレビインターネットとケーブルモデムについて→地元のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

◎ 各ケーブルの購入について→パソコン周辺機器の販売店にてお買い求めください。

参照

接続について→ケーブルモデムのマニュアルをご覧ください。または、ご契約のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

ほかの周辺機器を使うときは

ほかの周辺機器を使うときは、電子マニュアル『パソコン応用』を参照して接続してください。設定などの詳しい説明は、周辺機器のマニュアルをご参照ください。

●プリンターの接続について → 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「プリンターを接続する」

●ヘッドホン、マイクの接続について → 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「ヘッドホン、マイクを接続する」

●i.LINK に対応した機器の接続について → 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「i.LINK 機器を接続する」

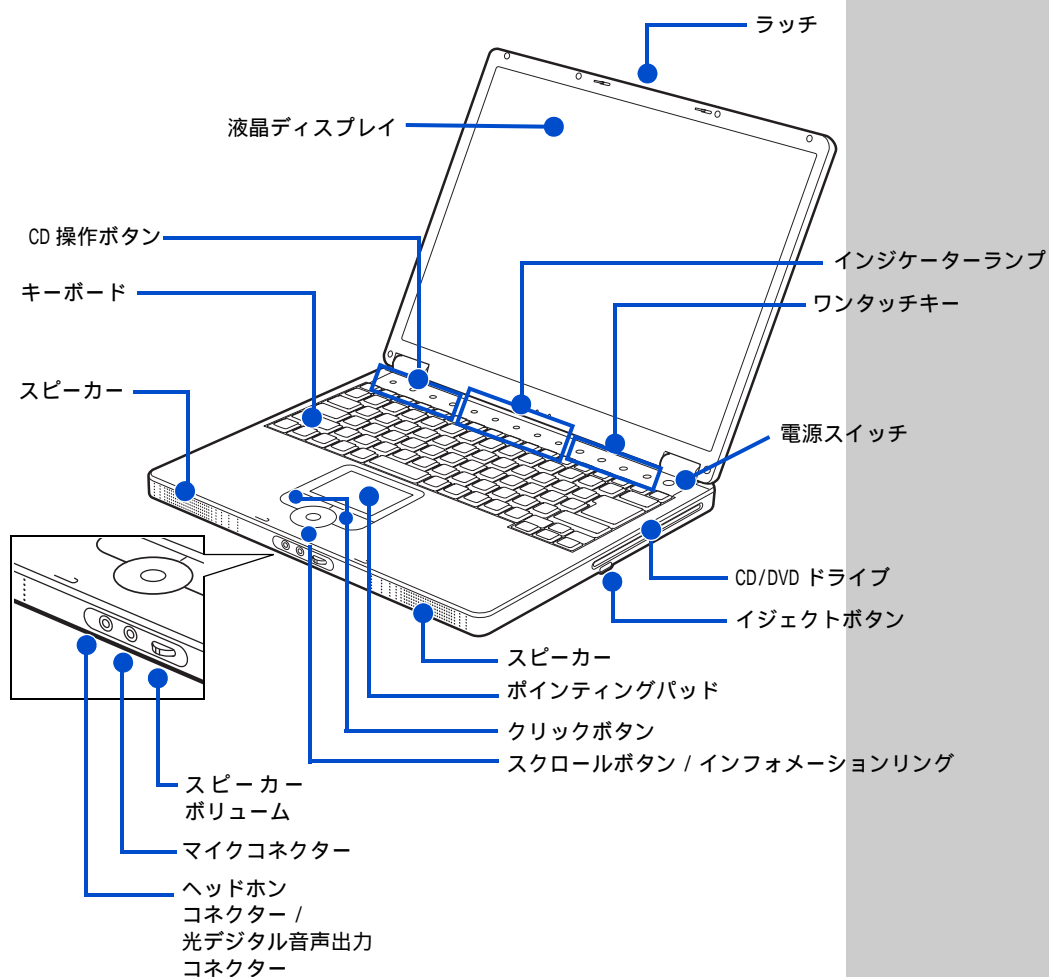
●USB に対応した機器の接続について → 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「USB 機器を接続する」

●光デジタルオーディオ機器の接続について → 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「光デジタルオーディオ機器を接続する」

●上記以外の周辺機器の接続について → 電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「その他の周辺機器を取り付ける」

ヒント

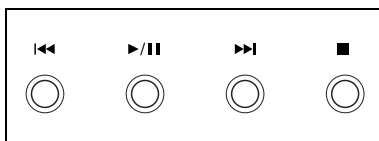
★ 次のプリンタードライバーはプレインストールされています。プリンターを接続すれば、使用できます。
一括セットアップしたときには、これらのドライバーはインストールされません。プリンターに付属のドライバーなどをインストールしてください。
- Lexmark
  (PriusJet)
- EPSON
  (CL-760C,PM-740DU、
  PM-860PT,PM-870C,
  PX-V700,PM-930C、PM-970C)
- CANON
  (PIXUS 50i,PIXUS 320i,
  PIXUS 550i,PIXUS 850i、
  PIXUS 950i)

各部の名前とはたらきを知っておこう

■ラッチ
右にスライドして、液晶ディスプレイを開きます。

■スピーカー
パソコンの音が出力されます。

■キーボード
文字などを入力します。

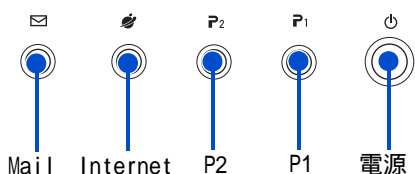
■CD操作ボタン

CDの操作ボタンです。
Windows上のアプリケーションによっては、CDの再生や操作ができます。

- ■ボタン
  再生を停止します。
- ▶/IIボタン
  再生したり、一時停止したりします。
- I◀◀ボタン
  トラック(曲)の先頭に戻します。
- ▶▶Iボタン
  次のトラック(曲)に進みます。

■電源スイッチ

パソコンの電源を入れます。

■ワンタッチキー

ボタンを押すだけでインターネットやメールができるボタンです。

- [P1]キー
  ワンタッチキーの一つです。電子マニュアル検索ソフト「CyberSupport(サイバーサポート)」を立ち上げます。
- [P2]キー
  ワンタッチキーの一つです。アプリケーションの立ち上げが簡単にできる「Priusで楽しもう」が立ち上がります。
- [Internet]キー
  インターネットに接続してホームページを見るためのアプリケーション「Internet Explorer(インターネットエクスプローラ)」を立ち上げます。
- [Mail]キー
  インターネットメールを送受信するためアプリケーション「Outlook(アウトルック)」を立ち上げます。

■インジケーターランプ

ランプの光り方で、パソコンの状態やメールが着信したかどうかがわかります。

■ポインティングパッド

上に指を置いてすべらせると、画面に表示される矢印マーク(マウスポインター)を動かすことができます。

ヒント

★ I◀◀を連続して押すと、前のトラック(曲)に戻ります。

★ Windows上のアプリケーションの操作を行うためには、アプリケーションにフォーカスがあっている(アクティブになる)必要があります。

★ ワンタッチキーで立ち上げるアプリケーションを変更することもできます。

★ 再セットアップを行うと、[P1]キーは「なし」に設定されます。

参照

ワンタッチキーの変更の方法→電子マニュアル『パソコン応用』1章の「ワンタッチキーを設定する」

「インターネットエクスプローラ」について→電子マニュアル『始めよう!インターネット』の2章「ホームページを見てみよう」

「アウトルック」について→電子マニュアル『始めよう!インターネット』の3章「メールを使ってみよう」

参照

インジケーターランプの見方について→「5. いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」「インジケーターランプの見方」

■クリックボタン
ボタンを押すと、画面に表示されるボタンなどを押したりすることができます。主に左のボタンを使います。

■スクロールボタン
画面をスクロールできます。

■インフォメーションリング
リング状のランプの色と光り方で、パソコンの状態を確認できます。

■スピーカーボリューム
ダイヤルを回すと、スピーカーの音量を調整できます。
左側に倒すと、音が小さくなり、右側に倒すと音が大きくなります。
つまみを押すと、ミュートします。

■マイクコネクター
マイクを使うときは、このコネクターにマイクを接続します。

■ヘッドホンコネクター
パソコンで再生している音をヘッドホンで聞くときは、このコネクターにヘッドホンを接続します。光デジタル音声出力コネクターと兼用です。

■光デジタル音声出力コネクター
このコネクターには、MD やドルビーサウンドシステムなどの光デジタル音声入力をもった機器を接続できます。ヘッドホンコネクターと兼用です。

■液晶ディスプレイ
画面を表示します。

■DVD マルチドライブ
CD-ROM や DVD-ROM、DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW を読み込むことができます。また、専用のアプリケーションやディスク（DVD-RAM、DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW）を使うと、データを書き込むことができます。

■DVD-ROM&CD-R/RW マルチドライブ
CD-ROM や DVD-ROM を読み込むことができます。また、専用のアプリケーションとディスク（CD-R、CD-RW）を使うと、データを書き込むことができます。

■イジェクトボタン
CD/DVD ドライブからディスクを取り出すときに使います。

参照

クリックボタン、スクロールボタン、ポインティングパッドの使い方について→『パソコン入門』1 の「ポインティングパッドを使う」

参照

インフォメーションリングの見方について→「5. いろいろな使い方をするために」「各部の名前とはたらきを知っておこう」「インフォメーションリングの見方」

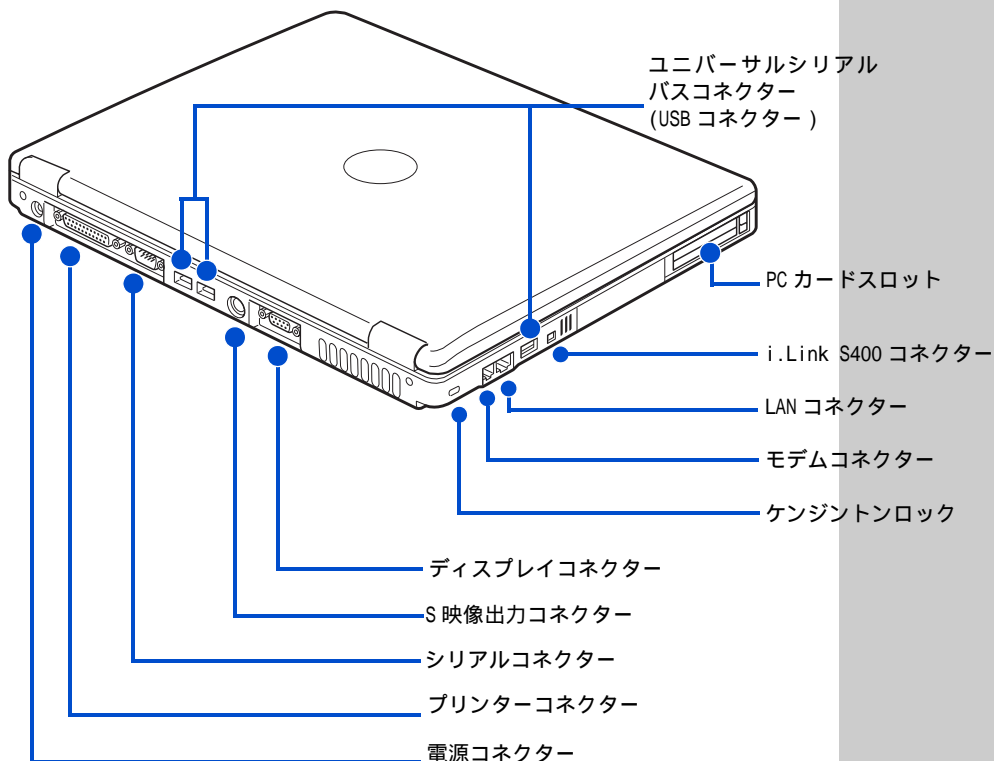
スピーカー音量の調整について→電子マニュアル『パソコン応用』1 章の「音量を調整する」

マイクやオーディオ機器の接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「ヘッドホン、マイクを接続する」

参照

使用できるディスクの種類→電子マニュアル『パソコン応用』7 章の「周辺機器の仕様」「ドライブの仕様」

用語

CD-ROM
プログラムやデータが保存してある CD のこと。

■LAN コネクター
ネットワークに接続するときは、このコネクターに LAN ケーブルを接続します。使用するには、設定が必要です。

■モデムコネクター
インターネットを始めるときは、このコネクターとモジュラーコンセントをモデムケーブルで接続します。

■i.LINK S400 コネクター (4ピン)
i.LINK 機器を使うときは、このコネクターに接続します。

■PC カードスロット
PC カードを差し込むと、PC カードの拡張機能を使うことができます。
TYPE IIの PC カードが2枚、または、TYPE IIIの PC カードが1枚入ります。

■ケンジントンロック
パソコンの盗難を防ぐためのワイヤーなどを取り付けられます。

■S 映像出力コネクター
パソコンの画面を家庭用テレビで見るときは、このコネクターに接続します。

■ディスプレイコネクター (ミニ D-Sub15 ピン)
パソコンの画面を外部のディスプレイで見るときは、このコネクターに接続します。

参照
LAN ケーブル接続と設定について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「LAN を接続する」

モデムケーブルの接続について→「5. いろいろな使い方をするために」「インターネットを始めたい方は」

参照
i.LINK 機器の接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「i.LINK 機器を接続する」

参照
PC カードの取り付け／取り外しについて→電子マニュアル『パソコン応用』3章の「PC カードを使う」

参照
家庭用テレビの接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「家庭用テレビを接続する」

外部ディスプレイの接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「ディスプレイを接続する」

■プリンターコネクター
プリンターを使うときは、このコネクターに接続します。

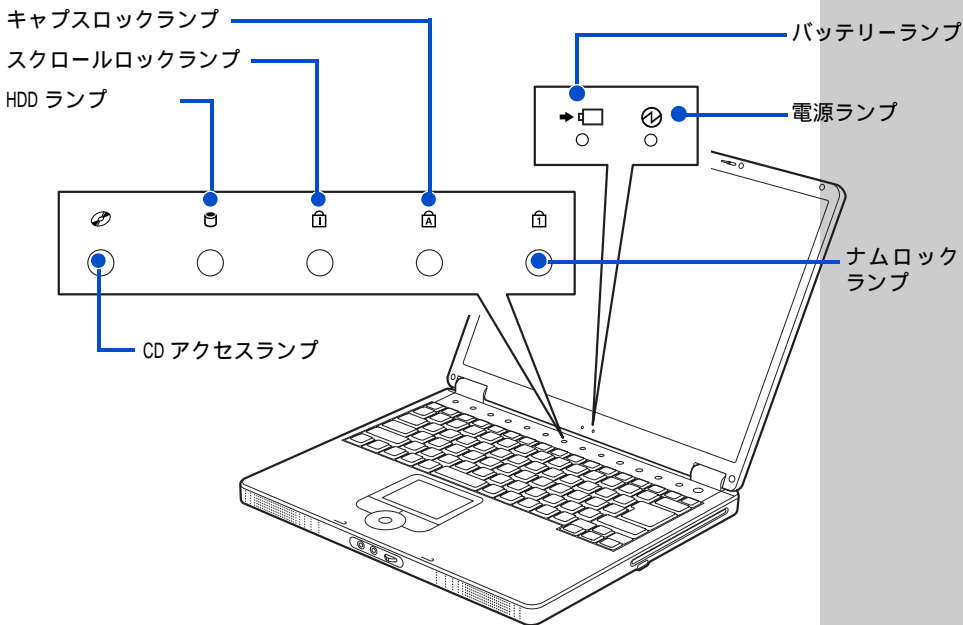
■ユニバーサルシリアルバスコネクター(USB コネクター)
ユニバーサルシリアルバス(USB)に対応した周辺機器を使うときは、このコネクターに接続します。コネクターは3個あります。
USB2.0 に準拠した機器が接続できます。

■シリアルコネクター
シリアルインタフェースに対応した周辺機器(ターミナルアダプタ(TA)など)を使うときは、このコネクターに接続します。

■電源コネクター
AC アダプターを接続します。

参照
プリンターの接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「プリンターを接続する」

USB に対応した周辺機器の接続について→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「USB 機器を接続する」

インジケーターランプの見方

■電源ランプ
点灯 : パソコンの電源が入っています。
点滅 : 節電機能が働いています。

■バッテリーランプ
点灯 : バッテリーパックの充電中です。

■ナムロックランプ
点灯 : キーボードの水色の数字が入力できます。

■キャップスロックランプ

[Shift] キーを押しながら [Caps Look] キーを押すと、切り替えられます。
点灯 ： 大文字のアルファベットが入力できます。
消灯 ： 小文字のアルファベットが入力できます。

■スクロールロックランプ

ランプが点灯していると、表示する画面を移動できない状態です。[Scroll Look] キーを押して、ランプが消灯すると移動できるようになります。ただし、ソフトウェアによっては動作が異なる場合もあります。

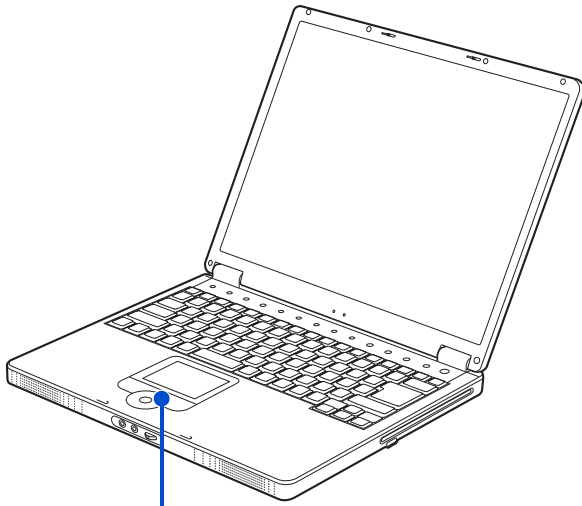
■HDD セスランプ

点滅 ： HDD がデータの読み書きをしています。

■CD アクセスランプ

点滅 ： CD/DVD ドライブが、データの読み書きをしています。

インフォメーションリングの見方

リングの色と光り方によって、パソコンの状態を確認できます。

パソコンの状態	インフォメーションリングの状態
パソコンの電源が切れている。	消灯
パソコンの電源が入った直後。	緑色の光が回転
パソコンの電源が入っている。	緑色に点灯

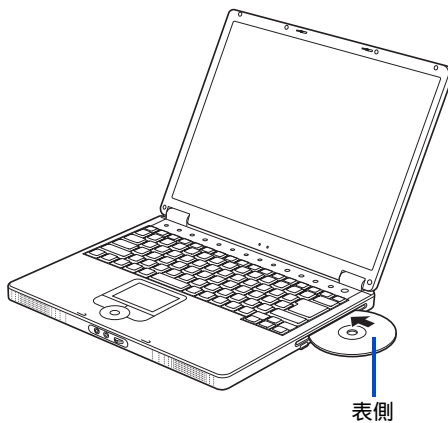
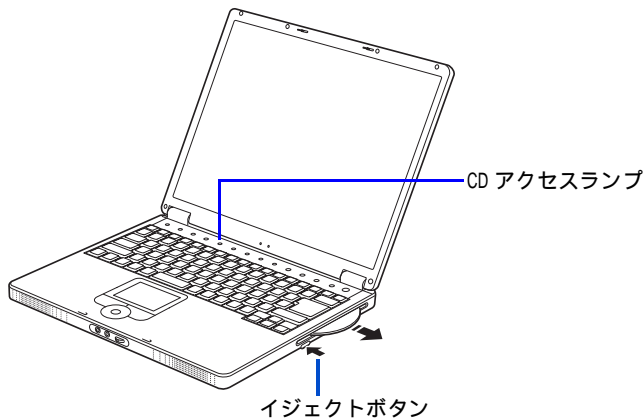
参照
キャップスロック、ナムロックについて→『パソコン入門』1 の「キーボードを使う」

ヒント
★ インフォメーションリングの点灯する色を変更することができます。

参照
インフォメーションリングの設定について→電子マニュアル『パソコン応用』1 章の「インフォメーションリングを使う」

パソコンの状態	インフォメーションリングの状態
節電機能が働いている。	緑色に点滅
バッテリーの残量が少なくなっている。	黄色に点灯
バッテリーの残量がない。	黄色に点滅
メールが着信している。	青色の光が回転し、青色に点灯

CD/DVD ドライブのディスクの入れ方／取り出し方

ディスクの文字などが書かれている面（表側）を上に向け、自動的に引き込まれるまでスロットに差し込む。

CD アクセスランプが点灯していないことを確認して、イジェクトボタンを押す。

少しディスクが出てくるので、手で引き出す。

重要

◎ 割れたり、変形したディスクは入れないでください。故障の原因になります。

◎ ディスクを出し入れするときは、無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。ドライブが壊れることがあります。

◎ CD アクセスランプ点灯や点滅中にディスクを出し入れすると、ディスクが壊れることがあります。

6. 再セットアップについて

ここでは、パソコンをご購入時の状態に戻すまでのセットアップ方法について説明します。パソコンの使用中にエラーが何回も発生したり、パソコンが立ち上がらないときも、セットアップし直してください。

作業の流れ

パソコンをご購入時の状態に戻すまでの作業の流れは次の通りです。

1 準備する

セットアップする前に必要なファイルのバックアップをとります。インターネットやメールなどの設定も控えておきます。

2 一括セットアップを行う

一部のアプリケーションを除いて、パソコンをご購入時の状態に戻します。

3 アプリケーションをセットアップする

一括セットアップで元に戻らないアプリケーションをセットアップします。

4 電子マニュアルをセットアップする。

一括セットアップで元に戻らない電子マニュアルをセットアップします。

1 準備する

次の準備を行ってください。

必要なファイルをバックアップする

ご購入時の状態に戻すと、それまでに作成したファイルや、追加したアプリケーションなどが削除されます。CD-R や CD-RW などのディスクに必要なファイルをコピーしてバックアップをとってください。

バックアップファイルを戻せるように元のフォルダー名など、保存先も控えてください。

参照
詳細について→「1. 準備する」

参照
詳細について→「2. 一括セットアップを行う」

参照
詳細について→「3. アプリケーションをセットアップする」

参照
詳細について→「4. 電子マニュアルのセットアップ」

参照
コピーの方法について→『パソコン入門』の「3. ファイルを使おう」

バックアップの方法について
→『困ったときの Q&A』の 1 章「パソコン Q&A」の「データのバックアップ」
→『アプリケーションガイド』の「安心楽々引越しパック」でデータを移動する

インターネットの設定を控える

ご購入時の状態に戻したあと、加入しているプロバイダーに再び接続できるように、ユーザー名、パスワード、アカウント名など、インターネットの設定に必要な情報をメモしてください。通常は、契約時にプロバイダーから送付された書類にこれらの情報が記載されています。その場合は必要ありません。

PC カードを取り外す

PC カードは、取り外してください。

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS の設定を変更している場合は、BIOS をご購入時の状態に戻してください。
BIOS の設定をご購入時の状態に戻す（初期化する）ことで解決できる問題もあります。ご購入時の状態から設定を変更している場合は、設定内容をあらかじめ控えておき、BIOS を初期化したあとに設定し直してください。

1 パソコンの電源を入れる。
パソコンの立ち上げ中、画面中央に「HITACHI」と表示されたら、[F2] キーを押す。

BIOS メニューの [Main] 画面が表示される。

ヒント

★ BIOS の設定を初期化しても内蔵タイマーの日付と時刻は変更されません。

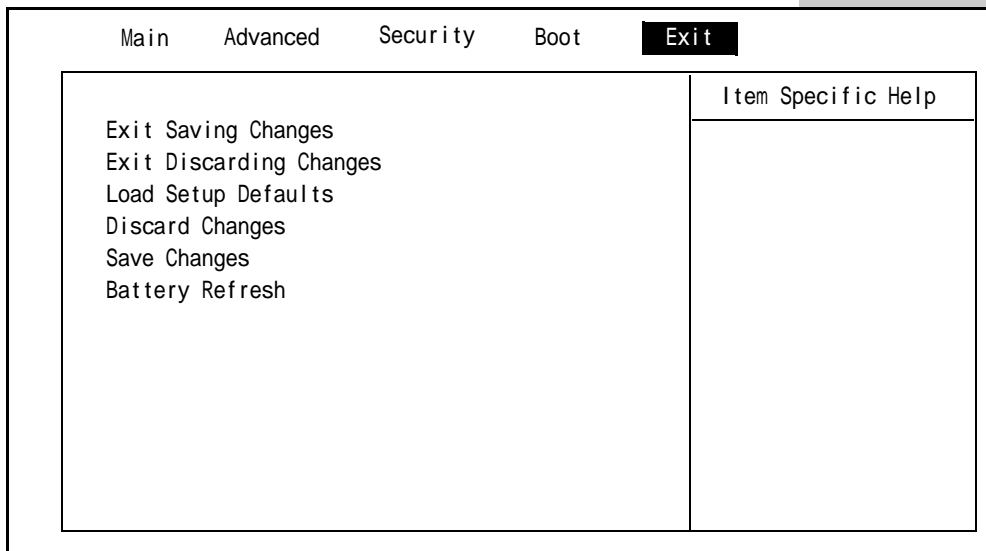
★ PC カードを取り付けているときは、取り付けた PC カードをパソコンから取り外してください。外さないと正しく動作しない場合があります。

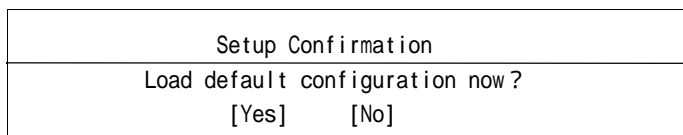
参照

PCカードの取り外しについて→電子マニュアル『パソコン応用』3 章の「PC カードを使う」

2 BIOS メニューの［Main］画面で［Esc］キーを押す。

［Exit］画面が表示される。

```
      Main     Advanced     Security     Boot     Exit
  +------------------------------------------+-------------------+
  |                                          | Item Specific Help|
  |  Exit Saving Changes                     |-------------------|
  |  Exit Discarding Changes                 |                   |
  |  Load Setup Defaults                     |                   |
  |  Discard Changes                         |                   |
  |  Save Changes                            |                   |
  |  Battery Refresh                         |                   |
  +------------------------------------------+-------------------+
```

3 [Load Setup Defaults］を選び、［Enter］キーを押す。

```
           Setup Confirmation
---------------------------------------------
      Load default configuration now？
            [Yes]       [No]
```

4 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

BIOS メニューの［Exit］画面に戻る。

5 [Exit Saving Changes] を選び、[Enter］キーを押す。

設定内容を保存する確認のメッセージが表示される。

6 [Yes] を選び、[Enter] キーを押す。

設定した内容が保存され、セットアップメニューが終了し、パソコンが立ち上げ直される。

必要なディスクを用意する

パソコンに付属の、次のディスクを使用します。
・『再セットアップ DVD』
・『Microsoft Office XP Personal』
・『活用百科』
・『かんたんラベル王 for HITACHI』

2 一括セットアップを行う

この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いてパソコンの HDD をご購入時の状態に戻します。さらに、ドライブ C のサイズを変更したり、ドライブ C のみご購入時の状態に戻すこともできます。
あらかじめ、パソコン付属の次のディスクを用意してください
・『一括インストール DVD』

1 パソコンの電源を入れ、すぐに『一括インストール DVD』を CD/DVD ドライブに入れる。

メニューが立ち上がる。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊  一括インストールを行います                                  ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊  この作業を行うと、一部のアプリケーションを除いて            ＊＊
＊＊  パソコンのハードディスクをご購入時の状態に戻します。        ＊＊
＊＊  さらに、ドライブ C のサイズを変更したり、                   ＊＊
＊＊  ドライブ C のみご購入時の状態に戻すこともできます。         ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊  続行するとハードディスクの内容が一部消去されます。          ＊＊
＊＊  必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して      ＊＊
＊＊  先にバックアップを取ってください。                          ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
: (1) 一括インストールを行う                                         :
+--------------------------------------------------------------------+
: (2) 一括インストールを中断する                                     :
+--------------------------------------------------------------------+
                      選択  (1/2)?:
```

重 要

◎ 『再セットアップ DVD』を CD/DVD ドライブに入れてもメニューが立ち上がらないときは、『再セットアップ DVD』を入れたまま、パソコンを立ち上げ直してください。

2 [1] キーを押す。

次のメッセージが表示される。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  一括インストールを行います。                                    ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  一括インストールの方法を選択してください                        ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
:(1) 現在のドライブ C だけを一括インストールする:                       :
:     ー現在のドライブ C の内容は消去されます                           :
:     ードライブ C 以外のドライブは消去されません。                     :
:     ードライブ C の容量は変更できません。                             :
+-----------------------------------------------------------------------+
:(2) ハードディスクを初期化した後、一括インストールする                 :
:     ーハードディスクのデータはすべて削除されます。                    :
:     ー新たにドライブ C の容量を設定できます。                         :
+-----------------------------------------------------------------------+
:(3) 一括インストールを中断する                                         :
+-----------------------------------------------------------------------+
                          選択  (1/2/3)?:
```

※ (1) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のパーティションは初期化されない。ドライブ C のパーティションサイズは変更できない。
※ (2) を選ぶと、OS をドライブ C に回復する。ドライブ C 以外のパーティションも初期化される。
※ (3) を選ぶと OS のセットアップを中止する。

3 [1] または [2] キーを押す。(1) を選んだ場合は、次の画面が現れる。(2) を選んだ場合は、手順 5 に進む。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊    現在のドライブ C に一括インストールを行います                 ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  ＜警告＞                                                        ＊＊
＊＊    続行するとドライブ C の内容はすべて消去されます。             ＊＊
＊＊    必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して        ＊＊
＊＊    先にバックアップを取ってください。                            ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊    現在のドライブ C に対して一括インストールを行いますか？       ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
:(1) 現在のドライブ C に一括インストールする                            :
:     ードライブ C のみを初期化し、一括セットアップを行います。         :
+-----------------------------------------------------------------------+
:(2) 一括セットアップを中断する                                         :
+-----------------------------------------------------------------------+
                          選択  (1/2)?:
```

※ (1) を選ぶと、OS をドライブ C に回復します。ドライブ C 以外のパーティションは初期化されない。ドライブ C のパーティションサイズは変更できません。
※ (2) を選ぶと、OS のセットアップを中止する。

4 OS のセットアップを行う場合は、[1] キーを押して手順 9 へ進む。

[2] キーを押すと OS のセットアップを中止します。

5 手順 3 で (2) を選んだ場合は、次の画面が表示される。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊    新規にドライブ C をハードディスクに作成した後               ＊＊
＊＊    一括インストールを行います。                              ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊  ＜警告＞                                                    ＊＊
＊＊    続行するとハードディスクの内容はすべて消去されます。        ＊＊
＊＊    必要なデータなどがある場合は一括インストールを中断して      ＊＊
＊＊    先にバックアップを取ってください。                        ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊    一括インストールを続行しますか？                          ＊＊
＊＊                                                              ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
：(1) 続行                                                        ：
：     －ハードディスクを初期化し、一括インストールを行います。     ：
+-----------------------------------------------------------------+
：(2) 一括インストールを中断する                                  ：
+-----------------------------------------------------------------+
                         選択  (1/2)?:
```

※ (1) を選ぶと、ハードディスクの初期化を行ったあと、新規に作成するドライブ C のサイズ変更画面へ進む。
※ (2) を選ぶと、OS のセットアップを中止する。

6 [1] キーを押す。

ドライブ C のサイズ変更画面が表示される。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  ハードディスクに新規に作成するドライブ C の                    ＊＊
＊＊  サイズを指定します。                                            ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  設定可能なドライブ C のサイズの範囲は                          ＊＊
＊＊      最小値：XXXXXXXXXX MB                                       ＊＊
＊＊      最大値：XXXXXXXXXX MB                                       ＊＊
＊＊  です。                                                          ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  ―設定可能なサイズの範囲内でドライブ C のサイズを入力した後、   ＊＊
＊＊    Enter キーを押してください（サイズの単位は MB)。              ＊＊
＊＊  ―サイズを入力しないで Enter キーを押すと                       ＊＊
＊＊      デフォルト値：XXXXXXXXXX MB                                 ＊＊
＊＊    で新規にドライブ C を作成します。                             ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
           ドライブ C のサイズを入力してください：
```

7 新規に作成するドライブ C のパーティションのサイズを入力する。サイズを変更する場合は、設定範囲内でサイズを入力したあと、[Enter] キーを押す。デフォルト値のサイズを使用する場合はそのまま [Enter] キーを押す。

次のメッセージが画面下に表示される。

```
指定されたドライブ C のサイズ XXXXXXXXXX MB
これでよろしいですか？ ( Y = はい / N = いいえ ) ：
```

ヒント

★ ドライブ C のサイズをご購入時の状態に戻すには、最大値を入力してください。

8 指定したシステムパーティションサイズに問題がなければ [Y] キーを押して手順 9 に進む。

[N] キーを押すと手順 6 に戻る。

9 OSの回復作業終了画面が表示されたら、パソコンからDVD-ROMを取り出し、パソコンを立ち上げ直す。

```
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  Microsoft (R) Windows (R) XP Home Edition                      ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  一括インストールは正常に終了しました。                        ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊  パソコンからＤＶＤ－ＲＯＭを抜いた後、                        ＊＊
＊＊  CTRL+ALT+DELキーを同時に押してパソコンを再起動して             ＊＊
＊＊  ください。                                                      ＊＊
＊＊                                                                  ＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
```

10 以降、Windows XPのセットアップ手順に従って、Windows環境をセットアップする。

3 アプリケーションをセットアップする

一括セットアップで、元に戻らないアプリケーションを Windows からセットアップします。添付ソフトウェアの CD-ROM を使います。

添付ソフトウェアの CD-ROM からセットアップ

セットアップの詳細については、各添付ソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。

■セットアップしたあと、はじめて立ち上げた時の対応
次のアプリケーションをセットアップしたあと、はじめて立ち上げたときは、番号などの入力が必要です。

アプリケーション名	番号の名称と記載場所
Microsoft Office XP Personal	CD キー (25 桁) CD-ROM ケースの裏側 ライセンス認証

■Microsoft Office XP Personal
セットアップについては、付属の『セットアップガイド』をご参照ください。セットアップ時にセットアップオプションを選べます。必要に応じてセットアップオプションを選んでください。
セットアップを行った場合、Office XP の ServicePack はインストールされません。再セットアップ後にご購入時の状態に戻すには、次の手順で ServicePack をインストールしてください。

1 『再セットアップ DVD』を CD/DVD ドライブに入れる。

2 [スタート]ボタン−[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

[ファイル名を指定して実行] が表示される。

3 e:\app\offxp\oxpsp1.exe と入力し、[OK] ボタンをクリックする。

※ e は CD/DVD ドライブ名
セットアップ選択画面が表示される。

4 以降、画面の指示に従ってインストールする。

5 インストールの途中で「'Microsoft OfficeXP Personal' ディスクを挿入し、[OK] をクリックします。」というメッセージが表示されたら、再セットアップ DVD を取り出し、『Microsoft OfficeXP Personal』CD を入れ、[OK] ボタンをクリックする。

重要

◎ アプリケーションをセットアップするときは、管理者権限を持つユーザー（アカウント）でセットアップしてください。

重要

◎ 添付の Microsoft Office XP Personal（以下 Office）の CD で Office をセットアップし直した場合、ライセンス認証が必要です。ライセンス認証を受けない場合、Office の立ち上げ回数が許諾回数を超えると、新規ファイルの作成更新など一部の機能が使用できなくなります。ライセンス認証の方法は、『セットアップガイド』をご参照ください。

6『再セットアップDVD』をCD/DVDドライブに入れる

7 [スタート]ボタン−[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

8 e:\app\offxp\oxpsp2.exeと入力し、[OK]ボタンをクリックする。

※ eはCD/DVDドライブ名
セットアップ選択画面が表示される。

9 以降、画面の指示に従ってインストールする。

■かんたんラベル王 for HITACHI

1「かんたんラベル用 for HITACHI」ディスクを CD/DVD ドライブに入れる。

2 自動的に「アプリケーション インストールメニュー」が起動するので、「インストール」ボタンをクリックする。

「アプリケーション インストールメニュー」が自動的に立ち上がらない場合は、次の手順でセットアップを行ってください。

1 [スタート]ボタン−「ファイル名を指定して実行」をクリックする。

[ファイル名を指定して実行]が表示される。

2 e:\instmenu.exeと入力し、[OK]ボタンをクリックする。

※ eはCD/DVDドライブ名
「アプリケーション インストールメニュー」が立ち上がる。「かんたんラベル王 for HITACHI」がインストールされていなければ、画面左側のアプリケーションのチェックボックスにチェックが付いて表示される。

3 [インストール]ボタンをクリックする。

セットアップが始まる。

4 電子マニュアルのセットアップ

一括セットアップでも、電子マニュアルはインストールされません。
「活用百科」CDを使って電子マニュアルをインストールします。
詳細については『パソコン入門』をご参照ください。

参照
詳細について→『パソコン入門』1章の「電子マニュアルを使う」

付録

ここでは、パソコンおよび周辺機器の使用環境、使用方法についての制限や、CD/DVD ドライブの使い方などについて説明します。

ご使用上の注意事項

パソコンおよび周辺機器を使用する環境について

・寒い場所では、室温を動作時周囲温度まで上げたあと２０～３０分経過してからお使いください。
・暑い場所では、しばらく空調などを使用し室温が一定になってからお使いください。
・直射日光の当たる場所や、ストーブなど発熱する器具の近くでは使用しないでください。
・ほこりが極端に多い場所では、使用しないでください。
・温度変化が激しい場所や湿度が極端に高い場所では、使用しないでください。
・腐食性ガス（特に亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアガスなど）や塩分を多量に含む空気などが発生する場所に設置しないでください。このような場所では、パソコンおよび周辺機器の表面を化学的に腐食することにより、電子部品の接触抵抗が増加したり、稼働部品の構造がもろくなり、パソコンおよび周辺機器の信頼性が著しく低下します。
・パソコンを使用する場所の近くで落雷が発生したり、電源の供給状態が悪い場合は、使用中に瞬時停電や電圧低下が発生して不都合が生じることがあります。この対策として、交流無停電電源装置を使用されることをおすすめします。
・煙霧状の殺虫剤などを使用するときは、事前にビニールシートなどでパソコンを完全に包んでください。
・じゅうたんのある部屋でパソコンを使用したり、パソコンの使用中にひざ掛けなどを使用すると、それらの材質によって静電気が発生し、パソコンおよび周辺機器に悪影響を及ぼす場合があります。静電気の発生しにくいものをお使いください。

参照
最適な温度について→電子マニュアル『パソコン応用』7 章の「パソコン仕様一覧」

参照
最適な湿度について→電子マニュアル『パソコン応用』7 章の「パソコン仕様一覧」

パソコンおよび周辺機器の取り扱いについて

・お客様が作成されたデータ（画像データ、映像データ、文書データ等）やメール、プログラム、各種の設定内容は、お客様の責任においてバックアップをお取りください。誤操作や故障などにより、パソコンの記憶装置（HDD 等）からデータが失われたり、使用できない場合がありますが、保証書に定められた保証サービスを除き、これによる損害などの責任は当社では一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。お客様が作成されたデータ等は普段からこまめにバックアップをお取りになることをおすすめします。

・本製品は日本国内仕様です。当社では海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
・パソコンの破棄または譲渡の際には、HDD 上のデータが流出するトラブルを回避するために、HDD からデータを消去するソフトウェアまたはサービスをご利用いただくことをおすすめします。なお、HDD 上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡するとソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。
・Windows の立ち上げ中や使用中に、電源スイッチを４秒以上押して電源を切ると、次回立ち上げ時にチェックプログラムが働くことがあります。異常がない場合は、そのあと正常に Windows が立ち上がりますが、異常がある場合は、再セットアップをしないとパソコンが使用できない場合もあります。
・パソコンは精密な電子部品で製造されていますので、衝撃を与えないでください。
・磁石やスピーカーなどの強い磁気を発生するものを近づけると、パソコンおよび周辺機器の故障の原因になります。
・マウスやモデムなど外部からのノイズに弱い機器があります。誤動作をする場合は、パソコンおよびその周辺機器の電源を同一のノイズフィルター付き ＯＡ タップからとることをおすすめします。
・電源を切ってから再び電源を入れるまでに、必ず 10 秒以上お待ちください。連続して電源を入り切りすると保護機能が働くことがあります。このときは、一度電源を切って、AC アダプターの電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。
・パソコンを立てかけて置くと、倒れた場合に壊れることがあります。絶対に立てかけないでください。
・パソコンを持ち運ぶときは、電源を切るかまたはシステムスタンバイ状態にして 5 秒以上経過し、HDD の回転が完全に止まってから持ち運んでください。
・パソコンを持ち運ぶときは、両手でしっかり持ってください。片手でぶら下げたりしないでください。

パソコンおよび周辺機器に関するご注意

・本パソコンではプレインストールしているオペレーティングシステム（OS）以外の OS は当社のサポート外となります。
・本パソコンは全ての USB 対応周辺機器、IEEE1394 対応周辺機器（デジタルビデオカメラを含む）および PC カード周辺機器の動作を保証するものではありません。
・プレインストールおよび添付のソフトウェアは、市販のパッケージ商品と機能や添付品・マニュアルなど異なるものがあります。また、マニュアルについてはソフトウェアのヘルプ機能や電子マニュアルで代用しているものがあります。
・通信中や HDD、CD/DVD ドライブの読み込み、書き込み中にパソコンの電源を切ったり、ソフトウェアリセットを行ったり、節電機能を働かせないでください。故障の原因となります。
・モデム着信による休止状態および電源を切った状態からの復帰はできません。
・Windows でコマンドプロンプトを使用する場合は英語環境にしないでください。正しく動作しないことがあります。

ディスプレイに関するご注意

■扱い方について

・パソコンの使用温度範囲は、10 ℃〜 35 ℃です。10 ℃未満の環境でご使用になると画面が暗くなったり、表示できなくなったりします。使用温度範囲のところで、電源を入れ直してください。
・ディスプレイ部の開閉は、ディスプレイ部の中央上側を持って行ってください。
・ディスプレイ部を閉じるときは、HDD、CD-ROM、CD-R/RW、DVD-ROM が停止していることを確認してから行ってください。
・ディスプレイには保護カバーが付いていませんが、使用上は問題ありません。ただし、表面を強く押したりすると、故障の原因となることがあります。
・ディスプレイ表面に水滴や指紋など汚れが付いたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
・表示全体の明るさを最大にすると、バックライトの寿命が短くなります。[Fn]+[F8] キーや [Fn]+[F9] キーで調整してください。通常は中程度の明るさでご使用ください。

■表示について

・液晶ディスプレイは画面の一部にドットの欠けや常時点灯が存在する場合がありますが故障ではありません。予めご了承ください。
・表示するパターンによっては、微妙な輝点 (指定の色と関係なく光る点) や黒点 (指定の色が表示できない点) が見えたり、罫線や文字の一部が欠けることがあります。ただし、輝点や黒点の数は、使用中に著しく増加することはありません。
・表示するパターンによっては、画面がちらつくことがあります。画面の明るさやディスプレイ部の角度を調節すると、見やすくなることがあります。
・長時間同じパターンを表示していると、画面が切り替わったときにも前のパターンが薄く見えることがあります。これは時間が経過すると消えます。
・長時間連続してご使用になると、液晶の温度が上昇し、コントラストが少し変化したりムラが出ることがあります。これは液晶の温度が下がるともとに戻ります。
・電源を入れたまま長時間ディスプレイを閉じておくと、表示にムラが出ることがあります。これはディスプレイを開けて放置しておくともとに戻ります。
・パソコンを立ち上げた直後は、画面の明るさが暗いことがあります。これは時間の経過とともに正しく見えるようになります。
・画面の色数が高 (24 ビット) 以上のときは、AVI ファイルなどの動画をフルスクリーンで再生しても、再生するファイルによっては画面いっぱいに表示されないことがあります。このときは、高 (24 ビット) よりも少ない色数に設定するとフルスクリーンで表示されます。
・多色表示と液晶の構造により、上方向からディスプレイの表示は見えにくくなっています。見やすい角度にしてご使用ください。

AC アダプターに関するご注意

・絶対に分解しないでください。
・浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所で使用しないでください。
・水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。
・布団の上や中など熱がこもるような環境で使用したり、狭い場所に放置したりしないでください。
・上に物を置かないでください。
・必ず付属のコードセット (電源コード) を使ってください。

USB 機器の使用について

・特定の USB 機器を複数接続した場合や、特定のデバイスとの組み合わせにおいて、接続した機器が使用可能な状態にならない場合があります。この場合は、USB ケーブルを抜き差しして、その機器をシステムに再度確認させてください。
・特定の USB 機器を接続した場合、節電機能への移行／復帰が正常に行えない場合があります。この場合は節電機能を使用しないでください。

CD/DVD ドライブに関するご注意

■ドライブの取り扱い

・パソコンの電源を切るときには、必ずディスクを取り出してからにしてください。
・ドライブの内部に異物を入れないでください。ドライブの故障の原因となります。
・ドライブの使用中に振動を与えないでください。データを正しく読み込めないことがあります。
・ディスクアクセスランプが点灯、点滅しているときは、イジェクトボタンを押さないでください。
・他のパソコンで作成されたディスクについて本パソコンでの動作を保証するものではありません。
・本パソコンで作成した CD-R/CD-RW ディスクは他のパソコンやプレーヤーでは読み込めない場合があります。
・FDD などデータの転送速度が遅いドライブから CD-R や CD-RW に書き込みを行うときは、テスト書き込みを行ってください。
・CD-R や CD-RW にデータを書き込む時は、他のアプリケーションを終了してください。書き込み中もほかのアプリケーションを立ち上げないでください。書き込みを失敗することがあります。

■ディスクの取り扱い

- 割れたり変形したディスクを使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクをお手入れするときは、乾いた柔らかい布でディスクの中心から外周に向けて放射状に拭いてください。このとき、ベンジン、シンナー、水、レコードクリーナー、静電気防止剤、シリコンクロスなどで拭かないでください。
- ディスクは温度、湿度が高い場所、直射日光の当たる場所に保管しないでください。
- ディスクは温度差のはげしい場所には保管しないでください。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ドライブ内での回転が不安定になり故障の原因になります。
- DVD-RAM 等のカートリッジタイプのディスクを、カートリッジから取り外して使用するときは、記録面に触らないなど、取り扱いに注意してください。正しく扱わないと、記録されているデータが損なわれたり、ドライブの故障の原因となります。
- お子さまがディスクを傷つけたりしないよう、ディスクはお子さまの手の届かないところに保管してください。
- CD-RW の書き換え可能回数は 1000 回程度です。1000 回以上使用した場合は、書き込みエラーが発生することがあります。
- ディスクによっては一部書き込み速度に対応していない場合もあります。

CD/DVD 再生に関するご注意

- 本パソコンでは地域番号（リージョンコード）として「２」または「ALL」が記載されていない DVD ビデオディスクは再生できません。
- 本パソコンにオーディオ機器を接続してお聞きになるときは、スピーカーを保護するため、いったんオーディオ機器の音量を下げて正常に再生できることを確認してからご使用ください。
- 本パソコンはソフトウェアを用いて DVD を再生（デコード）しています。このためディスクによっては、操作および機能に制限があったり、CPU 負荷などのハードウェアの制限で映像がコマ落ちしたり、音がとぎれることがあります。
- 本パソコンは全てのDVDビデオタイトルの再生を保証するものではありません。DVD ビデオタイトルによっては正しく再生できない場合があります。
- 現在発売されています「コピーコントロール CD」は CD 規格に準拠していない特殊ディスクです。本パソコンでの CD 再生および録音の動作を保証するものではありません。通常の CD の再生には支障がなく、特殊ディスクの再生時にのみ支障がある場合には、パソコンの故障・不具合ではありません。

HDD の容量表示について

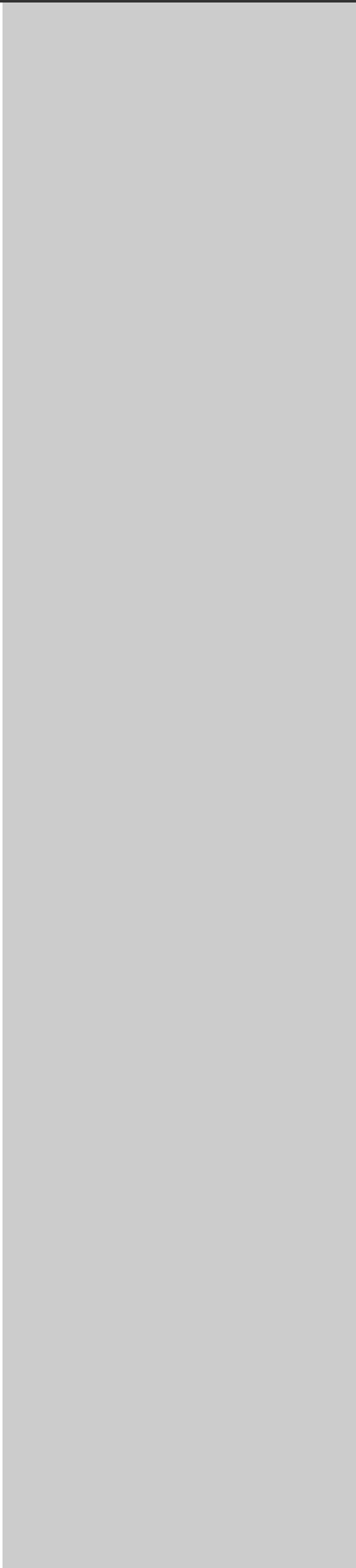
・HDD は、高密度な磁気ディスクにデータを保存する精密機器です。
磁気ディスクには微小な欠点があり、これらの領域にはデータを書き込まないようになっています。
・HDD のエラーチェックプログラムを実行すると、「不良セクタ」もしくは「スキップセクタ」が表示されることがあります。これは、データを書き込まない領域を表示しているだけで、HDD の不良ではありません。
・取り付けられている内蔵 HDD の容量と、エラーチェックプログラム実行時に表示される「全ディスク容量」との関係は次の通りです。内蔵 HDD が複数のパーティションに分割されている場合は、各領域の合計値です。この場合、合計値が次の値以下になる場合があります。
なお、＊は BIOS メニューの IDE の項目をご参照ください。

内蔵 HDD 容量	全ディスク容量の表示
＊ GB	＊× 1000000000 バイト以上

著作権についてのご注意

・音楽、画像、映像などは著作権法よりその著作権者および著作権者の権利が保護されています。権利者の了解なく無断でこれを複製（データ形式の変換を含む）、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うことは著作権法上できません。
・著作権保護のための信号が記録されている市販映像は本パソコンへ取り込むことはできません。

USB マウスに関するご注意

・マウスの底面から発せられる赤い光を直接見ると、眼を痛める場合があります。赤い光を直接見ないでください。
・センサー部分を汚したり、傷をつけないでください。
・光学式マウスは、次のような表面では正しく動作しない場合があります。
  ・光沢があるもの
  ・濃淡のはっきりした稿模様や柄のもの
  ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。
それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。
・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

接続と準備

ー最初に読む本ー

初　版　2003 年 4 月

株式会社　日立製作所

インターネットプラットフォーム事業部

〒 243-0435　神奈川県海老名市下今泉 810 番地
お問い合わせ先 : 安心コールセンタ　0120-8855-96

このマニュアルは、再生紙を使用しています。

100F710P0-1

Prius Air Note 100F

1 接続と準備 ―最初に読む本―

100F710P0-1

100F710P0-1